

献血者確保対策について(都道府県の取り組み)  
【平成21年度 行事等実績】

資料3-3

①小学生やより幼少期の親子を対象とした取組

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
北海道	平成21年4～9月	サタデー・テーリング	北海道赤十字血液センター	札幌市小学生4年～6年生	札幌市交通局が実施している小学生高学年を対象としている、札幌市の施設を知り、郷土の知識を高めようと企画されているスタンプラリー方式の事業に血液センターをスタンプポイント設置場所として参加し、若年層の献血啓蒙をおこなった。	期間中の来場者 2,334名

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮城県赤十字血液センター	H21.7.27～H21.8.6	けんけつKID'sサマースクール	宮城県赤十字血液センター	県内小学校4年生から6年生およびその保護者	小学生のうちから献血に親しんでもらえるよう夏休みの期間に実施、スライドでの説明や施設見学を行った。	期間中7日開催、保護者もあわせ約510名の参加があった。

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
秋田県	平成22年3月21日～28日	親子ふれあい献血キャンペーン	献血ステーション(イオンモール秋田店)	幼児から中学生	親が献血する姿を子供に見せて、献血の必要性、人を助ける心等を育み、将来への献血啓発とした。	“血が怖い”と恐る恐る近づいていた子供も、親が安心して献血している姿を見て、ホッとした笑顔。少なからず献血への恐怖心を緩和できたと思う。

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福島県	H21/8/10(月)～11(火)	夏休み血液センター見学会	福島県赤十字血液センター	小学4～6年生	ビデオ鑑賞、施設見学、クイズ等	
	H22/2/13(土)～14(日)	献血感謝デー	福島県赤十字血液センター	親子	親子で救急法、レッドクロスアター、健康講演会、災害時の食事体験、献血運搬車展示及び記念写真撮影、健康栄養相談	日ごろの献血についての感謝と赤十字事業の紹介

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
茨城県	H21.7.2～H22.2.6	青少年ふれあい事業	茨城県赤十字血液センター	小学生及び父兄、高校生、大学生	献血ルームの見学及び献血会場での呼び込み体験	参加人数 55名

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
群馬県	H21.5.3～H21.5.5	親子献血体験	金山総合公園 ぐんまこどもの国	小学生以下親子	親子を対象に献血啓発リーフレットを配布し、親の献血する様子を見学。	献血受付者数:280名

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
埼玉県	H21.11.29	親子ふれあい献血キャンペーン	深谷市上柴ショッピングセンター	親子を中心とした県民	親子で参加し、親が献血する姿を子供が見ることで献血に触れる機会を設ける。これにより献血できない年齢層の子供達に献血を身近なもの、大切なものとして認識してもらうことを目的とする。また若年層への献血思想の普及・啓蒙を図る上で、特に児童に対する取り組みとして実施する。	献血受付者数 263人

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県	H21.7.27	小学生献血学習会	千葉県千葉赤十字血液センター 東京女子医大八千代医療センター(視察先)	県内の小学校に在学する児童生徒とその保護者	若年層に対する献血啓発活動の一環として、普段献血に接することのない子供に幼少時から献血に対する興味、関心を持ってもらうことで、将来的な献血推進に資することを目的に実施。(スライドやビデオによる血液の働きや献血の意義等について説明、血液検査・製剤工程等施設見学等を実施。)	41組89名の親子が参加

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
東京都	H21.7.23～24、28～29 H21.8.4～5	献血おもしろゼミナール	東京都赤十字血液センター (日本赤十字社辰巳ビル)	小学1年生以上の児童及び保護者	若年層への献血啓発事業として実施。小学生を対象にスライド学習及びパネルクイズ、検査・製剤・供給部門の所内見学等を実施し、将来の献血者育成及び献血思想の普及につなげることを目的とする。	6日間計11回の開催で、合計376名が参加。

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
神奈川県	①平成21年7月27日～8月28日 ②平成21年8月3日～7日	夏休み小中学生親子献血教室	①神奈川県赤十字血液センター ②かながわ県民センター、横浜駅西口献血ルーム、相鉄ジョイナス前献血バス	県内在住・在学の小中学生及びその保護者	小中学生及びその保護者に、命の大切さやその命を支える献血の必要性及び重要性について、理解を深めてもらう。	参加者：①計123人 ② 計93人
	平成21年9月1日～14日(募集期間)	献血の絵ポスター展 作品募集		県内在住・在学の小中学生		応募校数：計 195校 応募数：計1,174点
	①平成21年11月7日 ②平成21年11月28日 ③平成21年12月1日～28日(土・日・祝除く) ④平成22年1月16日～17日 ⑤平成22年1月18日～2月7日	献血の絵ポスター展	①横浜みなと博物館 ②横浜市教育会館(表彰式会場) ③県庁第2分庁舎県政情報センター ④横浜新都市ビル(そごう)9階シビルプラザ ⑤県内3赤十字病院	県民	9月に募集した献血の絵ポスターの入賞作品を展示。	

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H21.7～9(募集期間) H21.10.24(表彰式)	献血推進用ポスター募集・表彰	県内小・中学生を対象に献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰を行った 表彰式：富山電気ビル	県内小・中学生	県内小・中学生を対象に献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰を行った。	応募点数：635点 (小学生133点、中学生502点)
	H22.2.8～2.15 H22.2.19～2.26	献血ポスター優秀作品の展示	県内ショッピングセンター	一般県民	小中学生献血推進ポスターコンクールの優秀作品展示を行い、献血思想の普及を図った。	県内2箇所で開催。

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
石川県赤十字血液センター	平成21年8月5日・12日・19日	なぜ？なに？おしえて献血	血液センター	小学生及び保護者	血液の勉強、本社作成DVD鑑賞、施設・車両の見学	3日間で小学生89名、保護者60名の参加があった。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福井県	通年	血液センター見学会 出前講座	血液センター	小中学生	献血に興味をもってもらえるよう実際に血液センターを見学してもらい啓発を図っている。	参加者：839名

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
静岡県	H21.5～H22.3	アボちゃんサポーター事業 成分献血啓発事業	高等学校、各地域	県内の高校生 県民	県保健所の所管地域にある高校の生徒98名に献血ボランティア「アボちゃんサポーター」を委嘱し、学内献血や学校祭、地域の健康まつり等において献血広報活動を行うとともに、活動記録「ABOニュース」を制作した。地域の健康まつり等では献血推進コーナーを設置し、子供連れの家族などに献血クイズを実施するなど、献血意識の啓発を行った。	地域イベントを10ヵ所で開催。

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛知県	平成21年8月4日(火)8月5日(水)、6日(木)	夏休み親子血液教室	一宮市北保健センター(8月4日) 愛知県赤十字血液センター(8月5日、6日)	小学生(4,5,6年生)とその保護者	児童期からの献血教育の推進を図ることを目的とする。	・血液センターの見学や血液型判定、献血クイズなどを実施した。 ・参加者314名(子供190名、保護者128名)

## 【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
三重県 三重県赤十字 血液センター	平成21年10月22日 ～平成22年2月10 日(9回)	平成21年度献血啓発授業	県内小学校	小学生	若年層の献血意識低下を打開するために、小学校の授業で命の大切さから血液、献血をテーマに小学生に授業を行った。	

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
京都府	21年8月5日	Kids献血探偵団	献血ルーム京都駅前	小学3年～6年生及び保護者	乙訓保健所管内小学生と保護者30組を募集。血液と献血についてクイズ形式による説明、献血ルームの見学、保護者の献血	保護者30人児童31人

## 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大阪府赤十字 血液センター	H21.7.30～H21.8.11 (計16回)	第14回「献血おもしろゼミナール」	大阪府赤十字血液センター	小学生の親子	献血に関する知識の普及啓発及び血液センターの見学。	計1,109名の参加があり、その内33名が献血。

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
兵庫県赤十字 血液センター	H21年8月5日、8月 17日	夏休みこども見学会	血液センター	小学生及びその保護者	血液センター見学等を通じ、若年層に対する献血思想の普及を図る。	こども51名、保護者等29名、計80名の参加があった。

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
奈良県	平成21年7月～8月 (6回実施)	献血まるわかりゼミ	血液センター	青少年(小中高生)	血液センター、献血バス等の施設見学を実施し、スライド等により血液及び献血についての体験学習を実施した。	参加者に血液、献血、血液センターの事等を理解していただくことにより、将来献血に協力いただける。

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
和歌山県	平成21年7月25日	海の博覧会における献血バス見学会	和歌山市和歌山港	親子	県赤十字血液センター主催で、親子連れが集まるイベント会場において、親子に献血バス乗車体験を実施し、献血の知識普及。(体験者105名)	

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鳥取県赤十字 血液センター	H21.8.3～H21.8.7	献血おもしろセミナー	血液センター研修室 新日本海新聞中部本社 ピックアップ	小学校4年生～中学校3年生及び同 保護者	血液について学習、施設見学、血液型判定、車両見学	

## 【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
島根県 島根県赤十字 血液センター	H21. 8. 2～5(3 日間7回)	夏休み小学生親子血液センター見学体験教室	島根県赤十字血液センター	県内小学校5・6年生の親子	親子で血液や献血についての知識、興味や親しみを持ってもらうことを目的に、クイズを交えた講座と施設見学を実施	7回開催し169名の参加

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岡山県	H21. 7. 28～7. 30 H21. 8. 3～8. 6	夏休み 小学生親子血液センター見学 体験教室	岡山県赤十字血液センター	小学校5・6年生 保護者	将来の献血者として、輸血医療を支えていただける小学生に、親子で献血や血液について、知識や興味をもっていただくと共に親しんでいただくことで献血思想の普及を図った。	県内413校の小学校に参加を呼びかけ、122校・664名(保護者を含む)の参加があった。

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
広島県	H21.7.22～24(3日)	血液センター見学会 「なるほど献血教室」	血液センター	小学生・保護者	スライド学習、血液センター見学、献血クイズ 参加者271名(こども165名、保護者106名)	若年者及び保護者啓発

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山口県	H21.7.22～H21.7.24	小学生親子血液センター見学教室	山口県赤十字血液センター(山口市)	小・中学生	血液の大切さを学び、将来の献血の推進につなげる	6回開催、34校(175名)
	通年	小学生等を対象とした「献血出前講座」	県内の小学校・中学校・高等学校	県内の小・中・高校生	血液の大切さを学び、将来の献血の推進につなげる	12回(393名)

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
徳島県	平成21年8月1日、2日	夏休み親子献血ゼミナール	徳島県赤十字血液センター	小学校と保護者	若年層対策として小学生と保護者を対象に血液の役割、献血の仕組み、血液の使われ方、血液センター見学等を実施し、献血の理解、関心を高める。	小学生と保護者116名の参加があり、献血への理解を深めることが出来た。

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
香川県	H21.10～H21.12	献血出前講座	各小学校	小学4～6年生	希望のあった小学校に血液センター職員が出向き、学校の授業の一環として、献血に関する基礎知識の啓発を実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。
	H21.8.4～8.6	小学生親子血液センター見学教室	香川県赤十字血液センター	小学4～6年生親子	献血に関する学習会を開催し、献血の大切さを学んでもらった。また、血液センター施設内の見学も実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛媛県	H21.8.5～H21.8.7	小学生親子血液センター見学体験教室	愛媛県赤十字血液センター 大街道献血ルーム 松山赤十字病院	小学校4年～6年生の児童及びその保護者	若年層への献血普及の一環として、「愛の血液助け合い運動」期間中である夏季において、献血年齢に満たない小学生を対象にして、思想普及を図るため開催し、血液のはたらきや血液センターの役割を理解していただき、献血に興味をもつていただくとともに、小学生の夏休みの宿題(自由研究等)を応援することを目的とする。	県内の小学校へポスター・チラシを配布し、参加者を募集した。3日間で児童44人、保護者34人の合計78人が参加した。(愛媛県赤十字血液センターと共催)
	H21.9.9	平成21年度献血推進協力団体等に対する厚生労働大臣表彰及び感謝状伝達式並びに知事感謝状贈呈式	愛媛県庁	県民	献血運動の推進に関し積極的に協力し、他の模範となる実績を示した会社、事業所、地域組織、学校等(以下「団体」という。)及び個人に対し、知事の感謝状の贈呈を行い、もって一層の献血運動の推進に資する。	献血運動の推進に功績のあった、34団体を表彰した。(愛媛県主催・愛媛県赤十字血液センター共催)

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	H214.1～H22.3.31	青少年ふれあい事業(出前授業)	久留米市・朝倉市・宗像市等	小学生	献血と輸血のお話、輸血を必要としたお子さんのドキュメント、献血バスの車内見学、緊急車両の役割等のお話等。	

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
佐賀県	H21.8.21	夏休み社会見学	佐賀県赤十字血液センター(佐賀市)	小学生とその親	・佐賀新聞社主催の社会見学の 일환 ・DVD放映、血液センター、献血バスの見学	新聞社主催であり、幅広く参加を呼びかけることが可能だった。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大分県赤十字血液センター	H21.8.2	夏休み親子献血教室	献血ルームOASIS21、九州血液センター	小学生親子	県内の小学生親子に参加してもらい、血液と献血についての研修と献血ルームの見学、九州血液センターにおける検査・製剤の工程の見学により、若年層への献血の啓発を目的とする。	県内の小学生親子12組29人が参加

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮崎県赤十字血液センター	H21.8.7	夏休み親子献血教室	宮崎県赤十字血液センター	小学生とその保護者	小学生に対して献血と血液の学習を通じて、命の尊さと、家庭・学校・地域社会に貢献できる心を育てる	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鹿児島県	平成21年8月6日～8日	楽しく学ぼうキッズ献血	鹿児島県赤十字血液センター	小学生(高学年)及び保護者	将来の献血者確保のため、小学生(高学年)に対し、献血の重要性や血液センターの役割について理解を深めてもらうことを目的に、献血の模擬体験や施設見学等を行った。	
	平成21年4月1日～平成22年3月31日	PTA献血	各小学校、中学校	小・中学生の保護者等	日曜参観やバザーなどの機会をとらえて、保護者を中心に地域の方々にも広報を行い献血を実施した。	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県 沖縄県赤十字血液センター	H22.3.4	献血教室	伊良波小学校	6年生	小学生を対象とした献血普及啓発用の冊子を活用し、献血教室を開催	

②複数回献血者となってもらうための重点的な啓発・施策

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
北海道	平成21年9月～11月	全道統一成分献血推進キャンペーン	北海道ブロック各固定施設	複数回の成分献血経験者	血小板製剤の供給増に伴い、成分献血推進キャンペーンを行う。主に複数回者を対象とした企画であり、協力いただいた方へ日ハムグッズを処遇品として提供した。期間中複数回協力いただけるように第1段～3段まで設け実施。	3ヶ月間の前年同時期対比110.3%と計画、前年度実績共に上回る状況であった。
	通年	誕生日献血・また来て献血キャンペーン	北海道ブロック各固定施設	全血及び成分献血協力者	献血経験者へ次回の協力を繋がるようにキャンペーンを行い複数回に結びつける。(DMによる誕生日献血案内、成分献血では、ポイント特典制によるキャンペーンを実施)	

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
青森県	H21.6	献血協力依頼	県内一円	献血協力事業所	県献血推進協議会長名(知事)で、各協力事業所へ、400mL献血の協力を文書にてお願いした。	県内献血協力事業所:1,500箇所
	H21・8・4	献血感謝の集い	青森駅前ビルアウガ5階イベントホール	県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催。大臣賞伝達・知事賞贈呈・日赤有功章伝達・「ありがとう!って いっぱい言わせて」放映・ミニコンサート。県民の献血への理解を深めてもらう。	参加者 約200名

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮城県	H21.6.1～H21.8.31(募集) H21.11.18(表彰式) H22.2.16～H22.3.15(ラジオCM放送)	愛の献血70字ストーリー募集事業	・県内の高等学校、市町村、保健所及び献血ルーム・バス等に応募用紙及びポスターを配布 ・インターネット、郵便等を利用(募集) ・「献血者に感謝する集い」で表彰 ・入賞作品によるラジオCM放送実施	若年層を中心に幅広い年代	献血思想の普及と献血意識の向上を図るため、「献血」に関するショートストーリー仕立てにした作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、入賞作品によるラジオCM広報を行う。	県内の高等学校108校に応募を呼びかけるなどし、109通の応募があった。
宮城県赤十字血液センター	H21.6.11～H21.7.21	血液センター施設見学会	宮城県赤十字血液センター	各献血推進団体	献血推進、協力団体に対して、献血後の血液の処理工程等を見ていただくことで、献血活動の重要性等について更なる理解を深めていただくことを目的として実施	3回開催で70名参加
	H21.7.26～H21.8.20	高校生献血ボランティア体験	県内献血会場	高校生	高校生への献血啓発として献血ボランティア体験の場を設け参加を呼びかけた。主に県内移動献血会場で献血呼掛けのボランティアを行った。	期間中5会場で18名のボランティア体験者があり献血の重要性等を感じていた。
	通年	献血出前講座	県内の高等学校、専門学校、大学、事業所等	若年層を中心に幅広い年代	血液センター職員が各学校、事業所等に出向き献血の講座を行うことで献血啓発を行った。	8会場、参加者約1,260名と多くの参加者が真剣に講座を聞いてくださった。
	H21.8.26～H21.8.28	仙台市幸町中学校職場体験	献血ルームAER20	中学2年生	若年層の献血啓発、普及を目的として実施	2名参加

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
秋田県	通年	通年を通しての啓発	各献血会場	全ての献血者	血液センター情報誌「ピエノ」に複数回献血の意義とメール会員登録案内を掲載し、募集に努めた。	少しずつではあるが、登録者が増えている。

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福島県	H21.6.24～H22.3.31	複数回献血協力事業所訪問	・県内の複数回献血に協力する事業所等	・事業所職員 ・学生ボランティア(高校生)	市町村、血液センター、県の三者が一体となって献血協力事業所を訪問。献血協力事業所宣言の楯を贈呈し、継続的な複数回献血の受入を要請。 なお、若年層の献血離れが顕著であることから、地域企業の社会貢献を体験学習してもらうとともに献血思想の意識高揚を図るため、高校生等ボランティアを「一日ヤング献血大使」に任命し、事業所訪問に同行。	市町村、血液センター、地元の高中生ボランティアの協力を得て、複数回献血協力事業所訪問を実施。(訪問件数:46事業所) 一日ヤング献血大使を21名(8高校)任命。14市町村の献血担当者も同行。
	通年	複数回献血クラブ会員の拡大、献血ポイントカード制度、成分献血キャンペーン	福島県赤十字血液センター	献血協力者	複数回献血クラブ会員の推進及び各種キャンペーン等により複数回献血の推進を図る。	

【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
栃木県	平成21年6月6日 (土)～7日(日)	「県民の日」献血キャンペーン	栃木県庁舎内 県民広場(宇都宮市) 県民の日記念イベント会場内	県民	栃木県医薬品配置協会や栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、県民に対し、献血の普及啓発を行うとともに、移動採血車による献血を行うことにより、「献血思想」の意識の醸成を図る。	来場者:約2,000名 献血者数:97名
	平成21年7月	「愛の血液助け合い運動」キャンペーン	県内	県民	ラジオやテレビによるスポットCM放送や県政広報誌への記事掲載により、400mL献血及び成分献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図る。	
	平成21年7月17日 (木)	献血功労者表彰式	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	県民	献血に功績のあった個人又は団体の表彰を行うとともに、一般県民も参加可能な記念コンサートを開催し、県民に対して、献血の普及啓発を図る。 第1部 式典 献血功労者の表彰 第2部 アトラクション 日本の歌とオペラの名曲	参加者:約150名
	平成21年8月1日 (土)～31日(月)	チャレンジ! 400ml献血 & 成分献血 キャンペーン	うつのみや大通り献血ルーム、栃木県赤十字血液センター、県内献血会場	県民	血液が不足する時期に献血者を確保するため、実施期間中に初めて「400mL献血」または「成分献血」に協力いただいた方にオリジナル記念品を贈呈し、県民各層の間に献血思想の普及を図る。	初回献血者 ・400mL献血 496名 ・成分献血 222名
	平成21年10月4日 (日)	「ヒューマンフェスタとちぎ」献血キャンペーン	マロニエプラザ(宇都宮市)	県民	栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、啓発物資の配布、移動採血車による献血等を実施することにより、県民に対して、献血の普及啓発を図る。	来場者数:1,000名 献血者数:45名
	平成22年1～2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮及び109シネマズ佐野	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送のほか、県内2か所の映画館でシネアートの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図る。	・新成人へのリーフレット配布 22,401枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
群馬県	通年	献血メールクラブ登録推進	各献血会場	献血者	献血メールクラブ会員募集リーフレットを特製クリアファイルに差込み、各街頭献血会場にてメールクラブ未登録者に配布。	登録者数:約5,400名
	H21.4.1～H22.3.31	緊急献血要請	県内街頭献血会場	献血メールクラブ会員	Rhマイナスの需要に応じて献血メールクラブ新着情報(トピックス)への掲載とRhマイナスのメール会員へ献血要請を配信。	依頼対象者:160名
	H21.11.23	献血感謝Day	イオンモール高崎	献血者	県内の献血者を対象に献血功労者表彰式・健康相談・AED講習会等のイベントを実施。イベント内ブースに献血メールクラブ新規会員募集コーナーを設置し複数回献血の必要性を訴え新規会員募集を行った。	来場者数:280名 新規登録者数:58名

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
埼玉県	H22. 3. 31まで	「携帯メールクラブ」新規会員募集キャンペーン	県内献血ルーム他	県民	このキャンペーン中、埼玉県内の献血ルーム等で献血しeメールで「携帯メールクラブ」に登録した献血者にオリジナル携帯クリーナーをプレゼントする。その後登録した献血者に必要に応じ献血協力を要請する。	

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県	H21.10.3	複数回献血クラブ	イオンモール成田「イオンホール」	県民	複数回献血くらぶ会員を対象に「赤十字セミナーinちば2009」を実施した。	7名参加

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
東京都	H21.6.1～H21.12.30 (募集) H21.8.1～H22.4.30 (要請)	献血サポーターキャンペーン	東京都内献血ルーム	400ml献血者	6月から12月の期間に来場した献血者を対象として8月から4月に実施するサポーターキャンペーンに応募する方を募集する。応募者の中から抽選を行い当選者に記念品をプレゼントする。	
	H21.4.1～H22.3.31	チャレンジ成分キャンペーン	東京都内献血ルーム (全血ルームを除く)	ルーム来所献血者	献血者の中で全血献血者を対象に、献血ルームへの来場期間を短縮し、需要動向に応じて成分献血・全血献血に種別変更が可能な献血者を確保し、複数回献血につなげる。(今年度にて終了)	
	H21.4.1～H22.3.31	A・MOKUキャンペーン	東京都内献血ルーム (全血ルームを除く)	ルーム来所献血者	各献血ルームにおける受入状態で、午前中閑散状態となるため、閑散時対策の一環として午前中の献血者の誘導が必要不可欠である。また、需要動向の曜日別を考えると木曜日を強化すべきである。そのため午前中及び木曜日の献血者を増やすことにつなげる。	
	H21.4.1～H22.3.31	成分1・2・3献血キャンペーン	東京都内献血ルーム (全血ルームを除く)	ルーム来所献血者	各献血ルームにおける受入状況の中で1人の献血者が何回でも献血ルームに来ていただける複数回献血者の増強を図る。(今年度にて終了)	
	H21.4.1～H22.3.31	全血1・2献血キャンペーン	東京都内献血ルーム (全血ルームのみ)	ルーム来所献血者	各献血ルームにおける受入状況の中で1人の献血者が何回でも献血ルームに来ていただける複数回献血者の増強を図る。(今年度にて終了)	
	H21.4.1～H22.3.31	携帯メールクラブ予約キャンペーン	東京都内献血ルーム	ルーム来所献血者	携帯メールクラブ会員募集と、メールでの成分献血予約を推進するためにキャンペーンを実施。期間中、メールで成分献血予約をした会員と、400ml献血のメール依頼に協力された会員に記念品を進呈する。	通常月平均:1924 キャンペーン期間月平均:2784
	H22.3.22	医学講演・赤十字救急法(AED)短期講習会 "サンクスドナーAED"	日本赤十字看護大学 1回	携帯メールクラブ会員	日頃の献血への協力に対するお礼として、携帯メールクラブの会員を対象とする医学講演と赤十字救急法講習会を開催し献血の重要性とAEDの使用法を含めた心肺蘇生法について理解・習得いただく。	
	H21.9.1～H22.3.31	携帯メールクラブ会員募集キャンペーン (もやっとキーパズル)	移動・出張採血現場・都内各献血ルーム	移動・出張採血現場・ルーム来所献血者	携帯メールクラブのPRと会員募集を目的としてキャンペーンを実施。期間中、献血された方に簡単なパズル「もやっとキーパズル」を配布。「もやっとキーパズル」を解答し、携帯メールクラブに会員登録された方は、次回献血時に記念品を進呈する。	新規登録者数:通常月:1062 配布月:1987
	H21.9.1～H22.4.30	携帯メールクラブ限定ポイントキャンペーン	東京都内献血ルーム	携帯メールクラブ会員	複数回献血クラブシステムの会員検索機能、ポイント加算、減算機能を活用し、携帯メールクラブ会員の献血協力(応諾、成分予約)の度に、ポイントを付加し規定のポイントに達した会員にメールを配信し、ポイント記念品を進呈する。携帯メールクラブの登録会員を増加させ、メールによる効率的な献血要請を行い応諾者の増加とともに複数回献血の推進を図ることによって、需要に応じた輸血用血液の安定的な確保を目的とする。	通常月平均:8,000/月 キャンペーン期間月平均:9,550/月
H21.10.1～H22.4.30	都内献血リピーターキャンペーン	移動・出張採血現場・都内各献血ルーム	移動・出張採血現場・ルーム来所献血者	移動採血現場での献血協力者に携帯クリナーを配布し、次回そのクリナー持参の上再度献血に協力してくれた方に記念品を進呈する。年2回以上の複数回献血者の増加を目的とする。		

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
神奈川県	平成21年11月28日	神奈川県献血推進功労者等表彰式	横浜市教育会館	献血推進功労者、献血の絵ポスター展入賞者等	献血の推進に功績のあった団体及び個人、献血の絵ポスター展の入賞者等を表彰。	参加者:約500人



【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H21.4 H22.1	大学生への働きかけ【新規】	県内大学	県内大学生	入学オリエンテーション時に献血への理解と協力を働きかけた。また、献血啓発用のリーフレットを配布した。	県内4大学、延べ約700名の新入生へ呼びかけ。
	H21.4	ポスターの作成・配布	献血協力企業など	一般県民	若者等に人気のあるJリーグリビジョン2の選手を起用したポスター等を作成し、献血の意識啓発に努めた。	
	H21.7・8 H22.1・2	ショッピングセンターでの懸垂幕掲示	富山駅前のショッピングセンター	一般県民	富山駅前の商業施設を活用し、献血啓発用の懸垂幕を掲示し、献血思想の普及を行った。	
	H21.7	献血啓発用「ジャンボ黒板消し」の配布	県内全高校	県内高校3年生	若年層への献血意識を高めるため県内の高校、高専の3年生全クラスに配布した。	59校、282クラスへ配布。
	H21.8.2	サマー献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	夏場の血液不足解消のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施した。	
	H21.12.6	全国学生クリスマス献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	年末年始の血液確保のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施した。	
	H22.1.2～1.31	駅コンコース踏込広告設置	JR富山駅コンコース	一般県民	はたちの献血キャンペーン期間中に、駅のコンコースへ広告を設置し献血意識の高揚を図った。	
	H22.1.8	はたちの献血キャンペーン	県名各地ショッピングセンター、駅など	一般県民	冬期における血液不足の解消のため、街頭キャンペーンを実施し、広く県民に理解と協力を求めた。	
	H22.1.11	「はたちの献血キャンペーン」イベント	ショッピングセンター	一般県民	ラジオ公開生放送による献血啓発活動及びLOVEメール会員募集イベントを実施した。	

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福井県	通年	複数回献血クラブIBUKIへの加入促進	血液センター	若年層を中心に幅広い年代	・複数回献血クラブIBUKIへの入会を積極的に促進し、入会者の携帯電話に献血情報をメール配信している。 ・会員限定の映画試写会等のイベントを開催	
	通年	ポイント制報償制度	血液センター	成分献血協力者	ポイントに応じて記念品贈呈	
	通年	サンクス献血キャンペーン	献血会場	初回献血者	初回献血者に、血液センター所長からのお礼状等を送付し、年内の再協力をお願いしている。	

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	駒ヶ根: H21.10/23～25 佐久: H22.1/9～11 飯田: H22.2/27～28 中野: H22.3/13～14	献血ルーム体験運動	駒ヶ根市、佐久市、飯田市、中野市内の大型店舗	県民(来客者、通行人)	血液センターが無い地域の大型店舗内に臨時の献血ルームを設置し、献血を体験する機会を設けるとともに、会場周辺でチラシ配布などの啓発活動を行った。	献血者数: 駒ヶ根 130人 佐久 334人 飯田 200人 中野 144人

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛知県	平成21年7月1日～平成22年3月31日	400mL複数回献血キャンペーン	愛知県内の献血会場	400mL献血可能な県民全般	複数回献血者の割合を増加させ、安全で良質な血液を安定的に確保するため、特に400mL複数回献血者層を拡大することを目的とする。	・啓発用ポスターを5,000枚作製し、県内各地に掲示するとともに、キャンペーンの記念品12,000個を配布した。

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
三重県 三重県赤十字 血液センター	平成21年7月～8月	愛の血液助け合い運動	県内各キャンペーン会場(12箇所)	一般県民	啓発パンフレットおよび資料を配布しながら広く呼びかけを行った。	
	平成21年12月	クリスマス献血キャンペーン	県内各キャンペーン会場(4箇所)	一般県民	啓発パンフレットおよび資料を配布しながら広く呼びかけを行った。	
	平成22年1月	はたちの献血キャンペーン	県内各キャンペーン会場(2箇所)	一般県民	啓発パンフレットおよび資料を配布しながら広く呼びかけを行った。	
	平成22年1月～2月	ウインター献血キャンペーン	県内キャンペーン会場(10箇所)	一般県民	啓発パンフレットおよび資料を配布しながら広く呼びかけを行った。	
	平成22年2月～3月	スプリング献血キャンペーン	県内キャンペーン会場(5箇所)	一般県民	啓発パンフレットおよび資料を配布しながら広く呼びかけを行った。	
三重県赤十字 血液センター	平成21年11月	ライオンズクラブ国際協会334-B地区 献血推進研修会	ホテルグリーンパーク津	県内ライオンズクラブの献血担当者	県内ライオンズクラブを対象に、今後の献血奉仕活動に生かすための事例発表及び講演	
	平成21年4月～3月	献血インフォメーション	FM三重による週2回の生放送	一般県民	固定施設の紹介、移動採血車の予定、不足している血液型などのリアルタイムな情報、献血に関するトピックスなど献血者を確保する。	
	平成21年7月～3月	月変りスイーツフェア	母体のみ	成分・400mL献血者	母体にて成分・400mL献血者に月変りでスイーツを召し上がっていただく。特に成分の複数回献血者の増加を目的とする。	
	平成21年4月～3月	複数回献血キャンペーン	移動バス	400mL献血者	移動献血現場にて、21年4月から献血2回目の方に記念品をプレゼントする。年2回以上の複数回献血者の増加を目的とする。	

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
滋賀県	平成21年7月26日	湖北長浜1000人献血運動	長浜勤労者総合福祉センター臨湖周辺	周辺住民	湖北長浜1000人献血の会による献血啓発活動	169人の献血者

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大阪府	H21.7.31	大阪府知事感謝状贈呈式(厚生労働大臣表彰状・感謝状伝達式同時開催)	KKRホテル大阪	献血に功績のあった団体並びに個人	大阪府知事感謝状の贈呈並びに厚生労働大臣表彰状感謝状の伝達。	
	H21.7.1～H21.7.31	愛の血液助け合い運動	府内一円	府民	府内市町村及び市町村献血推進協議会を中心に街頭キャンペーン、機関紙等への広報掲載等を実施。	
	H21.12.1～H21.12.31	大阪府献血推進月間	府内一円	府民	府内市町村及び市町村献血推進協議会を中心に街頭キャンペーン、機関紙等への広報掲載等を実施。	
大阪府 日本赤十字社 大阪府支部 大阪府赤十字 血液センター	H21.12.1	大阪府献血感謝のつどい	エルおおさか	献血にご協力いただいた団体並びに個人等	献血に多大なご協力をいただいた団体等の表彰及び記念講演。	
大阪府赤十字 血液センター	H21.9.27～H21.11.22(計5回)	ウォーキング教室	大阪府赤十字血液センター	けんけつE倶楽部会員	クラブ会員の健康促進を目的として、ウォーキング教室を開催。	
	H22.1.18～H21.2.2.8(計4回)	ヨガ教室	大阪府赤十字血液センター	けんけつE倶楽部会員	クラブ会員の健康促進を目的として、ヨガ教室を開催。	
	H22.2.27	講演会と音楽ライブ	大阪城ホール・コンベンションホール	けんけつE倶楽部会員	・講演「ストレスで起こる病気とその予防」。 ・ピアノ弾き語りライブ。 ・バイオリン演奏。	
	H21.4.1～H22.3.31	献血ルームにおける各種キャンペーン	大阪府内の献血ルーム(計10箇所)	府民	・ネイルケア、マッサージ、ハンドトリートメントサービス等。 ・抹茶とお菓子のサービス、モーニングキャンペーン等。 ・「生け花」の実演会、手相占い等。	

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
兵庫県 兵庫県赤十字 血液センター	年間随時	複数回献血クラブ「プラス1 献血クラブ-HYOGO-」		県民	複数回献血クラブ「プラス1 献血クラブ-HYOGO-」の会員募集、周知。	
	H21年11月	18歳の献血キャンペーン	県下の高等学校	県下の高校3年生	県下の高校3年生全員にキャンペーンリーフレットを配布し、献血への参加を呼び掛けた。県教育委員会、私立中学高等学校連合会の後援名義を得る。	県下の全高等学校232校の3年生約50,000人にリーフレットを配布。初回・複数回を問わず、献血協力全般について呼びかけ。
兵庫県赤十字 血液センター	H21年4月～H22年2月	ネイルケア・ハンドマッサージ	ミント神戸15献血ルーム	献血者(女性限定)	ヒューマンアカデミー神戸校学生による。毎木・金曜日(3時間)※国庫補助事業	参加者数754人。初回献血者の取り込み目的も兼ね併せている。
	H21年4月～H22年1月	スポーツマッサージ	ミント神戸15献血ルーム	献血者	ヒューマンアカデミー神戸校学生による。毎火曜日(午後の3時間)※国庫補助事業	参加者数608人。初回献血者の取り込み目的も兼ね併せている。
	〃	盆点前(抹茶と和菓子のサービス)	ミント神戸15献血ルーム	献血者	(財)エム・オー・エー美術文化財団による。毎月第一木曜日(30人限定)	参加者数300人。初回献血者の取り込み目的も兼ね併せている。
	H21年4月～H22年1月	ハッピータイムキャンペーン	三宮センタープラザ献血ルーム	献血者	午前中の献血者確保を目的にミニクワッサンを提供	午前中の受付数が全体の28.6%を占め、前年度を上回る採血数になった。初回献血者の取り込み目的も兼ね併せている。
	H21年8月6日	血液センター見学会	ミント神戸15献血ルーム	献血者	献血いただいた血液が患者のもとへ届けられるまでの検査、製剤、供給(血液の保存)を血液センターにて見学	参加者数22人。初回献血者の取り込み目的も兼ね併せている。
	H21年9月～H22年12月	平日献血ルームに行こうキャンペーン	全献血ルーム	献血者	冬季の献血ルームにおける安定的な献血者確保を目的に次回平日に献血いただいた方に記念品を進呈	前年に比し、11月813人、12月522人、1月440人の平日の献血者が増えた。初回献血者の取り込み目的も兼ね併せている。
	H21年4月～H22年1月	ハッピータイムキャンペーン	三宮センタープラザ献血ルーム	献血者	午前中の献血者確保を目的にミニクワッサンを提供	午前中の受付数が全体の28.6%を占め、前年度を上回る採血数になった。初回献血者の取り込み目的も兼ね併せている。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
奈良県	平成21年5月～9月	ホップステップジャンプキャンペーン	献血現場	全献血者	メール会員に入室した方に、次回からの献血毎に3段階で記念品を進呈する。	メール会員1,751名の増加及び献血者の増につながった。 (1,796人→3,547人) (21年5月～22年3月)

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
和歌山県	年中			献血協力者	県血液センターでは、「複数回献血クラブ」の募集を推進するため、献血現場にてPRのちらしを配布している。会員には、各種サービスの案内をし献血推進を図る。県においても、献血者に啓発物品を配布する等献血推進を図っている。	

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岡山県	H21. 5. 1	鉢花贈呈式	岡山県赤十字血液センター	寄贈者: 岡山県インドアグリーン協会	ゴールデンウィーク中の血液の安定的確保を目的として、みどりの日に合わせ、同協会より鉢花を寄贈していただき、当日、いただいた鉢花を献血者にプレゼントした。	岡山県インドアグリーン協会より鉢花250鉢をいただき、血液センターと献血ルームにおいてプレゼントした。

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
広島県	H21.7.1～7.31	愛の血液助け合い運動	県内全域	全県民	懸垂幕掲示、ポスター配布、広報誌、ホームページ等による広報活動実施、献血ルーム前で献血呼びかけ(7/1)	計画的な年間献血者の確保
	H21.4.1～6.18(募集)	献血推進ポスター募集	県内全域	中・高校生	応募総数284名(中学生251名、高校生23名) 最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作10点選出	若年層への献血啓発
	H22.1.1～2.28	はたちの献血キャンペーン	県内全域	全県民	ポスター配布・掲示 チェラン作成及び成人式で配布 県広報誌による広報 街頭献血(H22.1.11)	若年層への献血啓発

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山口県	通年	パンフレットの配布	献血会場	献血者	1年間に複数回の献血をしていただく	登録者数1,581人(H22.2)

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
徳島県	平成21年7月末～平成22年3月31日	けんけつ「ハートメッセンジャー」事業	保健所、市町村窓口	若年層を中心に幅広い年代	複数回献血クラブの会員数の増加を図ることを目的に、タウン誌、リーフレット等の印刷物にQRコードを掲載し、携帯電話から簡単にアクセスできるような環境整備に努める。	登録者数の増加

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	H22.2.1～H22.3.18	足つぼマッサージ	福岡県北九州血液センター	献血者依頼要請可能者	週2回 月曜と水曜の午前11時30分まで先着20名様限定	
	H214.1～H22.3.31	メールクラブ、PCクラブ		登録者	メール配信を利用した献血要請	

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
佐賀県	H21.8.3	献血ふれあいフェスタ	ゆめタウン佐賀(佐賀市)	一般、献血表彰者	・献血推進協力団体に対する感謝状等の伝達、贈呈 ・地元アーティスト等によるミニライブ ・ダンスステージ ・献血バスによる献血(献血者142人)	ラジオ局に委託することにより、ラジオでのCM放送等も行われた。 血液センターとの共催
	H21.7.11～12	サマー献血キャンペーン	ジョイフルタウン鳥栖(鳥栖市) ゆめタウン佐賀(佐賀市)	一般	・学生献血推進委員会によるイベント ・献血バスによる献血 ・献血者に風船、ジュース等を配布	
	H21.12.12～13	クリスマス献血キャンペーン	ゆめタウン佐賀(佐賀市)	一般	・学生献血推進委員会によるイベント ・献血バスによる献血 ・ゲーム大会 ・献血者にジュース、菓子等を配布	

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
熊本県	年間(6か所×1週間)	移動献血ギャラリー	繁華街、大型ショッピングセンター等の展示スペース	一般	パネル等を展示して400mL献血や成分献血の重要性並びに血液に関する正しい知識を県民各層に広げることが目的とする	
	H21.7.1～8.31	愛の血液助け合い運動	県内一円	一般	運動月間中に市町村、学生献血推進協議会及び献血協力団体等と連携を図って、広報紙、大型ビジョン、懸垂幕、各種広報資材を活用して、広く県民各層に献血への理解と協力を求める。	
	H21.12.13	学生クリスマス街頭キャンペーン	大型ショッピングセンター	一般	学生献血推進協議会と協力して、同世代の若者を中心に献血への協力を呼びかける。	
	H22.1.1～2.28	はたちの献血キャンペーン	県内一円	一般	キャンペーン期間中に市町村、学生献血推進協議会及び献血協力団体等と連携を図って、広報紙、大型ビジョン、懸垂幕、各種広報資材を活用して、若者を中心に広く県民各層に献血への理解と協力を求める。	
	H21.1.11	成人の日街頭キャンペーン	市中心部アーケード街	若者及び一般	学生献血推進協議会と協力して、同世代の若者を中心に献血への協力を呼びかける。	
	H22.1.27	献血500万人記念セレモニー	熊本県赤十字血液センター	一般	熊本県での献血者数が500万人を突破したのに伴い、これまで御協力をいただいた献血者や企業・団体に対し感謝を伝えると友に、改めて献血の重要性を訴えることで、今後ますますの献血協力と新規献血者獲得を推進する。	
	H22.2.1～2.28	献血500万人記念キャンペーン	県内一円	一般	熊本県での献血者数が500万人を突破したのに伴い、これまで御協力をいただいた献血者や企業・団体に対し感謝を伝えると友に、改めて献血の重要性を訴えることで、今後ますますの献血協力と新規献血者獲得を推進する。	
	H22.3.18	献血500万人記念トークショー	熊本市内	一般	熊本県での献血者数が500万人を突破したのに伴い、これまで御協力をいただいた献血者や企業・団体に対し感謝を伝えると友に、改めて献血の重要性を訴えることで、今後ますますの献血協力と新規献血者獲得を推進する。	

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮崎県 宮崎県赤十字 血液センター	H22.1.4~2.26	複数回献血クラブ会員増強 キャンペーン	献血ルーム「カリーノ」	複数回献血クラブ会員	複数回献血クラブ会員にフットスパサービスや記念品を提供	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鹿児島県	平成21年4月1日~	複数回献血の普及啓発	献血会場(県内全域)	献血者(一般県民)	初回の献血時、献血会場で複数回献血への協力を依頼するとともに、2回目の献血が可能となるころに、献血をハガキで呼びかける。	
	平成21年10月15日~	複数回献血の普及啓発	献血会場(離島を除く県内全域)	献血者(一般県民)	国の緊急雇用創出臨時特例基金を活用し、県赤十字血液センターに臨時職員を雇用して献血会場における複数回献血クラブの普及啓発を行った。	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県赤十字 血液センター	H21.12.8~H22.2.25	足つぼマッサージ	血液センター	複数回献血クラブ会員及び新規会員	複数回献血者への献血協力サービス	

### ③市町村における献血推進協議会の設置の推進

#### 【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
北海道	平成21年12月	北海道献血推進担当者会議	札幌市	道内市町村、保健所、血液センター担当者	北海道献血推進計画を策定するため、各市町村及び血液センターと協議を行うことを目的として開催する。	

#### 【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
青森県	H21.2.10	市町村献血推進事業担当課長会議	青森市	市町村の担当課長	青森県献血推進計画(案)及びバス稼働計画(案)の説明と、協議会の設置をお願いした。	40市町村

#### 【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
秋田県	1月～3月	保健医療福祉協議会献血推進部会等での市町村への働きかけ	県内各保健所	市町村献血担当者	保健所管内の献血計画を策定する献血推進部会において、各市町村に対し、献血推進協議会の設置を働きかけている。	

#### 【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福島県	H21.12.22	市町村献血担当課長会議	日本赤十字社福島県支部	市町村献血担当課長会議等	市町村献血担当課長会議等で協議会の設置状況及び設置の推進を図る。	59市町村中のうち市町村で設置。

#### 【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県					各市町村及び各種団体の理解を得ながら設置に向けて協力を求めた。	

#### 【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H21.4	市町村担当課長会議の開催	富山県赤十字血液センター	市町村担当課長	各市町村に協力を依頼。	

#### 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
静岡県	H21.6.11	市町献血推進主管課長等会議	日赤県支部会議室	市町献血担当課長(担当者)	県、市町村、血液センターの担当者との意思疎通を図るための会議を開催。その中で市町献血推進協議会の活動を行うよう要請している。	

#### 【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛知県	平成21年7月1日	平成21年度献血推進担当者会議	名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	市町村献血推進担当者	県内市町村の献血推進担当者を集め、血液事業の現状についての説明を行い、知識の向上や献血推進協議会設置についての理解を求める。	市町村職員45名が出席

#### 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
京都府	21年10月20日	献血推進協力団体等表彰式	京都府公館	献血推進協力者等被表彰者	献血推進協力団体・個人の表彰	団体表彰12団体、個人表彰4人

#### 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大阪府	H21.6.16	市町村献血推進担当者会議	大阪赤十字会館	市町村及び献血推進協議会担当者	献血の現状及び府献血推進計画等の説明。	全市町村に献血推進協議会は設置済み。
	H22.3.25	市町村献血推進協議会会長会議	大阪赤十字会館	献血推進協議会会長等	献血の現状及び府献血推進計画等の説明。	全市町村に献血推進協議会は設置済み。

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
兵庫県			市町献血担当者会議等	市町	休止中の協議会の再会若しくは設置の呼びかけ	市町合併による広域化、財政事情により、困難を極めている。

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
奈良県	H21.6.16	市町村・保健所献血事務主管課長及び担当者会議	奈良県医師会館	市町村・保健所献血事務主管課長及び担当者	市町村・保健所献血事務主管課長及び担当者向けに会議を実施し、献血推進協議会の設置の必要性を訴える。またキャンペーン等の協力を呼びかける。会議において、血液センター所長より1時間程度の講演をして頂いている。	

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
和歌山県	2月上旬	保健所、市町村担当者会議	県立保健所等5ヶ所	保健所、市町村担当者	平成22年度の献血推進計画(案)を示し、各保健所単位の地区協議会でその地域にあった取り組みを協議するよう依頼。各市町村の取り組みの情報交換した。	

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
広島県	H21.10.19	献血推進担当者会議	広島県庁	市町担当者 県保健所担当者	移動献血計画の策定	同左

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山口県	年1回(まちまち)	各献血推進協議会	各市町	官公庁・事業所等	前年度の実績説明、当年度のお願い	市町等の合併により協議会が開催されなくなる場合がある。
	H22.2.17	平成21年度市町・健康福祉センター献血担当者会議	県庁	市町・健康福祉センター担当者	協議会の状況と活性化のための意見交換等実施	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	H21.7.7~H21.7.27	ライオンズクラブ並びに市区町村献血推進担当者合同研修会	久留米市 福岡市 北九州市 飯塚市	ライオンズクラブ、市区町村献血担当者及び献血推進協議会	昨年度の献血実績を報告し、今後の献血推進事業について説明を行った。	
	H21.10.15 H21.10.21	ライオンズクラブ並びに市区町村担当者合同献血推進研究会	福岡市 北九州市	ライオンズクラブ、市区町村献血担当者及び献血推進協議会	血液事業について研修を行うほか、ライオンズクラブ及び市町村担当者による献血に関する事例報告を行い、献血思想の普及啓発を図った。	
	H22.2.23	保健所並びに市区町村献血推進担当者会議	福岡県吉塚合同庁舎	保健所、市区町村献血担当者及び献血推進協議会	次年度の献血推進計画を説明し、市町村献血目標について理解と協力を求めた。	

## 【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大分県	H21.6.5	保健所・市町村献血担当主管課長会議	大分県赤十字血液センター	保健所・市町村献血担当課長等	前年度の献血状況及び当該年度の献血目標を説明。献血推進先進地から講師を招き、講習を行うことによって市町村の取り組みを促した。	

## 【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鹿児島県	平成21年6月4日~5日	市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議	鹿児島市	市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者	保健所及び市町村担当者に対して、平成21年度県献血推進計画の説明を行い、目標達成に向けて協力を求める。献血推進協議会の再構築と活動強化を要請した。	

## 【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県	H21.6.8	市町村血液事業担当課長会議	県庁	市町村血液事業担当課長	未設置市町村については、会議等で協議会の設置を促す	

④より多くの企業の協力を得るための取組

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岩手県	H21.7.30	献血推進協力団体等に対する厚生労働大臣及び感謝状伝達式並びに知事及び日赤支部長感謝状贈呈式	サンセール盛岡	献血推進協力団体及び個人	献血の推進に積極的に協力し、他の模範となる団体及び個人に対し、知事及び日本赤十字社岩手県支部長連名の感謝状を贈呈した。併せて厚生労働大臣表彰・感謝状の贈呈を行った。	・大臣表彰 1団体 ・大臣感謝状 4団体 ・知事・日赤支部長感謝状 11団体
	H21.7	愛の血液助け合い運動	県内一円	県民	啓発ポスターを各保健所、市町村等に配布した他、県政番組を活用し啓発を図った。	・ポスター 計1,600枚配布 ・7/4 TV県政番組放送 1件
	H22.1~2	はたちの献血キャンペーン	県内一円	県民	啓発ポスターを各保健所、市町村等に配布した他、ラジオ、広報誌等により啓発を図った。	・ポスター 計2,200枚配布 ・1/8 ラジオ放送 1件 ・雑誌広告 2件

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
秋田県	通年	通年を通して登録を推進	各献血協力事業所	各献血協力企業	血液センター情報誌「ピエノ」に献血サポーター企業の意義と参加頂いている企業の代表者からのコメントをいただき募集に努めた。	勤務時間中に献血の依頼があっても、抜け出すことができない状況であった。企業の代表者の決裁のもと加入したことで、勤務中であったも総務の許可を得ることができた、との声があり献血依頼を行う上で大きな意義があると思う。

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山形県	通年	献血サポート団体の育成		県内事業所等	献血に協力的な事業所等を市町村ロビー等に掲示することにより顕彰を行い、本県における事業所等が行う献血活動のより一層の推進を図った。	登録事業所等81団体 (H22.3.31現在)
	H21.7.21	献血功労団体等知事感謝状贈呈式	山形県庁	献血功労団体	献血の推進に積極的に協力し、その実績が顕著で他の模範となる団体及び個人に対し、知事感謝状の贈呈を行った。併せて厚生労働大臣表彰・感謝状贈呈の伝達を行った。	知事感謝状贈呈 23団体

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福島県	H21.6.24~H22.3.31	複数回献血協力事業所訪問	・県内の複数回献血に協力する事業所等	・事業所職員 ・学生ボランティア(高校生)	市町村、血液センター、県の三者が一体となって献血協力事業所を訪問。献血協力事業所宣言の楯を贈呈し、継続的な複数回献血の受入を要請。 なお、若年層の献血離れが顕著であることから、地域企業の社会貢献を体験学習してもらうとともに献血思想の意識高揚を図るため、高校生等ボランティアを「一日ヤング献血大使」に任命し、事業所訪問に同行。	市町村、血液センター、地元の高校生ボランティアの協力を得て、複数回献血協力事業所訪問を実施。(訪問件数:46事業所) 一日ヤング献血大使を21名(8高校)任命。14市町村の献血担当者も同行。

【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
栃木県	平成21年6月6日(土)~7日(日)	「県民の日」献血キャンペーン	栃木県庁舎内 県民広場(宇都宮市) 県民の日記念イベント会場内	県民	栃木県医薬品配置協会や栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、県民に対し、献血の普及啓発を行うとともに、移動採血車による献血を行うことにより、「献血思想」の意識の醸成を図る。	来場者:約2,000名 献血者数:97名
	平成21年7月	「愛の血液助け合い運動」キャンペーン	県内	県民	ラジオやテレビによるスポットCM放送や県政広報誌への記事掲載により、400mL献血及び成分献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図る。	
	平成21年7月17日(木)	献血功労者表彰式	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	県民	献血に功績のあった個人又は団体の表彰を行うとともに、一般県民も参加可能な記念コンサートを開催し、県民に対して、献血の普及啓発を図る。 第1部 式典 献血功労者の表彰 第2部 アトラクション 日本の歌とオペラの名曲	参加者:約150名
	平成21年8月1日(土)~31日(月)	チャレンジ! 400mL献血 & 成分献血 キャンペーン	うつのみや大通り献血ルーム、栃木県赤十字血液センター、県内献血会場	県民	血液が不足する時期に献血者を確保するため、実施期間中に初めて「400mL献血」または「成分献血」に協力いただいた方にオリジナル記念品を贈呈し、県民各層の間に献血思想の普及を図る。	初回献血者 ・400mL献血 496名 ・成分献血 222名
	平成21年10月4日(日)	「ヒューマンフェスタとちぎ」献血キャンペーン	マロニエプラザ(宇都宮市)	県民	栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、啓発物資の配布、移動採血車による献血等を実施することにより、県民に対して、献血の普及啓発を図る。	来場者数:1,000名 献血者数:45名
	平成22年1~2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮及び109シネマズ佐野	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送のほか、県内2か所の映画館でシネアドの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図る。	・新成人へのリーフレット配布数 22,401枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回



【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
群馬県	通年	新規事業所の開拓			献血未実施団体の発掘。	
	通年	既存協力団体の推進強化			既存協力団体の実施回数・時期を精査し可能な限り増回を計る。	
	通年	ライオンズクラブ等推進団体との連携強化			特に合併等で衰退している市町村献血への協力依頼。	

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県	H21.4～H22.3	献血協賛企業活動推進活動	県内	県内献血協力企業	献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴としてのロゴマークを付与することにより、企業・団体が行う献血活動の普及を図った。	献血サポーターの推進

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
神奈川県	平成21年4月1日～5月31日	春のかながわ献血キャンペーン	県内各地	県民	新社会人及び新大学生等を中心に、広く県民に献血への一層の理解と協力を求めることを目的に実施。	期間中献血実績 ・成分献血 22,619人 ・400ml献血 31,928人 ・200ml献血 574人
	平成21年10月15日～11月30日	秋のかながわ献血キャンペーン	県内各地	県民	県民に400ml献血・成分献血を中心とした献血思想の一層の普及を図ることを目的に実施。	期間中献血実績 ・成分献血 15,500人 ・400ml献血 23,521人 ・200ml献血 718人

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H21.4	市町村担当課長会議の開催	富山県赤十字血液センター	市町村担当課長	各市町村に協力を依頼。	

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福井県	平成21年6月29日	ライオンズクラブ研修会	サンドーム福井 研修室	ライオンズクラブの献血担当	県下各ライオンズクラブに血液事業への理解を深めてもらい、企業献血や献血ボランティアの協力を要請。	
	通年	献血サポーター事業		企業・団体	献血サポーター事業に協力いただける企業・団体の加入促進	

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
静岡県	H21.8.12	平成21年度静岡県献血推進大会	静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」	県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催する。大会では、献血功労者に対して知事褒賞等の贈呈を行うとともに、「血液の有効利用と輸血部門の役割ー輸血細胞治療部の過去・現在・未来ー」と題して浜松医科大学医学部附属病院輸血細胞治療部長 竹下明裕氏の特別講演を行った。	知事報償受賞 12団体 参加者 約340人
	H21.4～H22.3	「アボちゃん協会」との連携		協力団体等	平成5年に設置した献血協力団体「アボちゃん協会」の会員企業等に対し、定期的に献血啓発リーフレット等啓発資料を送付し、意識普及を図った。	協力団体数：606

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛知県	平成22年7月23日(金)	愛知県献血運動推進大会	名古屋市中区役所ホール	県民全般	献血協力団体の善意に報いるため、献血の推進に寄与した団体や長年献血に御協力いただいている団体に知事感謝状を贈呈する。	愛知県知事感謝状贈呈団体 (献血協力団体：11団体、献血功労団体：1団体)

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
三重県 三重県赤十字血液センター 日本赤十字社三重県支部	平成21年8月10日	平成21年度三重県献血功労者表彰式	三重県津市	被表彰者、団体	献血に功労のあった団体・個人に対して、厚生労働大臣表彰・感謝状の伝達および知事・日本赤十字社長・血液センター所長から感謝状等の贈呈を行った。	

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
兵庫県	平成21年8月	夏季献血推進強化月間	県下全域	県内企業、団体	血液の不足しがちな時期に合わせ、文書による協力要請を呼びかけ。	
	平成21年12月、平成22年1月	冬季献血推進強化月間	県下全域	県内企業、団体	血液の不足しがちな時期に合わせ、文書による協力要請を呼びかけ。	
兵庫県 兵庫県赤十字 血液センター	H21年10月21日	兵庫県献血功労感謝のつどい	兵庫県公館	県民、受賞者等	永年にわたり献血運動等に功績のあった団体等を顕彰し、関係者の意識の高揚を図るとともに、血液事業についての県民の理解を深めるため、体験発表等を行う。	②の記載に同じ

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
和歌山県	年中				県血液センターでは、ホームページに献血協力企業名を掲示し、紹介している。	

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鳥取県	H21.7	月間キャンペーン企業訪問	企業	企業役員等	献血の現状等説明及び献血の依頼等	
鳥取県赤十字 血液センター	H22.3	研修会の開催	青年会議所	青年会議所会員等	講演等	

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岡山県	H22. 2. 5～2. 6	献血推進団体との意見交換会	メルパルク岡山	中国・四国地区商工会青年部連合会 中国・四国地区献血推進担当職員	献血推進団体の育成強化を目的として、商工会青年部連合会の各リーダーの方々を招き、献血への理解と協力をお願いし、今後の献血推進に協力がいただけるよう意見交換を行った。	献血事業の現状の説明及び3グループに分かれて献血の推進についての意見交換を行い、より一層の献血への理解と協力をお願いした。

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
広島県	H21.7.28	広島県献血推進大会	鯉城会館	献血功労者 行政・医療関係者	献血功労団体等表彰 献血推進ポスター募集優秀作品表彰 出席者150名	計画的な年間献血者の確保

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山口県	2～3月	事業所訪問	下関地区	事業所	血液センター・県・市で事業所を訪問し、「血液不足時の献血への積極的な協力」等を活動内容とする「献血サポーター」への登録を推進する。また「献血サポーター」登録事業所に於いて、緊急時に献血に協力して頂ける「献血サポーター」職員登録をお願いしている。」	6事業所訪問(2事業所、65名が登録)

## 【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大分県	H21.7.29	厚生労働大臣表彰状・感謝状 伝達式	県庁	受賞団体	献血功労団体の大臣表彰状・感謝状受賞団体へ、福祉保健部長から伝達した。	表彰状:2団体、感謝状:6団体
	H21.11.3	献血功労団体知事表彰	県庁	受賞団体	文化の日に、献血功労団体を知事表彰した。	1団体
	H22.2.17	献血功労団体知事感謝状贈呈 式	大分センチュリーホテル	受賞団体	献血功労団体に知事感謝状を贈呈した。	10団体
大分県赤十字 血液センター	H21.9.26	ライオンズクラブ献血推進セ ミナー	337-B地区ガバナーが召集し、血 液センターの運営により、別府市内の イベント会場で開催	337-B地区役員・各ライオンズク ラブの会長・幹事・三献委員長	献血優良クラブの血液センター所長感謝状贈呈、献血の現状説明(大分県、血 液センター)、献血に関するDVD鑑賞、優秀クラブによる事例発表などにより、献 血へのより一層の推進を図ることを目的とする。	地区役員14人、各クラブ役員98人、県主管課担当1 人、血液センター所長以下9人が出席。
	H21.11.29	ライオンズクラブ九州血液セン ター見学会	大分県赤十字血液センター、九州血 液センター	県内各ライオンズクラブ役員	献血の現状及びライオンズクラブ年度上半期(7月～10月)実績の説明、九州血 液センターの検査・製剤工程の見学により、献血に関する一層の推進を図ること を目的とする。	ライオンズクラブ地区ガバナー、キャビネット幹事19 人、血液センター3人が参加

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮崎県	奇数月第2水曜日	成分献血推進強化事業		県民	成分献血に協力した企業・団体の名前を新聞紙上に掲載	
宮崎県 宮崎県赤十字 血液センター	通年			献血サポーター	献血サポーターに対し、サポーターマークのシールを配布し、社会貢献のアピールに使用してもらう	
	H22. 1. 27	みやざき愛の献血運動県民推進大会	宮崎市	献血協力団体等	献血協力団体への表彰及び講演会の実施	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鹿児島県	平成21年10月15日 ～平成22年3月31日	献血協力企業の増加対策	県内全域(離島を除く)	企業・事業所	国の緊急雇用創出臨時特例基金を活用し、県赤十字血液センターに臨時職員を雇用して、訪問活動による献血協力企業の増加を図った。	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県赤十字 血液センター				県内企業	工事現場や未実施の団体等に献血実施を依頼	

⑤官公署における率先した献血実施

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
北海道	5月・9月・1月	道庁献血	北海道庁	職員	平成21年5/7～8日 9/8～9日 1/5～6日 計12稼働で献血を実施	

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
青森県	H21.5 H21.8 H21.12 H22.1	県庁献血	県庁	県庁職員	県庁職員に献血の協力をお願いした。	延べ約280人

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
秋田県	通年	献血バスの配車計画の中に官公庁を積極的に組み入れ、献血を実施している。	県内各官公署	県内各官公署職員	血液が不足する時期や、事業所での献血予定がキャンセルになった場合等に官公署に献血バスを配車し、職員への呼びかけを行っている。	

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福島県	4月・9月・1月	県庁献血	県庁敷地内	県庁職員、来庁者等	県庁において定期で年3回(緊急臨時献血で4回)移動採血車による献血を実施。実施にあたっては、庁舎へのポスター掲示、庁内放送、各課へ出向いての協力依頼を行っている。	

【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
栃木県	平成21年5月～平成22年1月のうち8日間実施	庁内献血	県庁内	庁内県職員及び県民	県庁内において献血を実施し、庁内県職員及び来庁している県民に協力を呼びかける。	受付者:359名 献血者:329名
	年間を通じて実施	出張採血	県内各市役所・町役場・協力企業等	市町職員及び県民	県内各市役所、町役場、企業等において献血を実施し、市町職員及び県民に協力を呼びかける。	

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
埼玉県	H21 5/1、8/17、12/28、H22 1/4、1/6、3/29	職員献血	埼玉県庁舎	埼玉県職員	職員献血を実施。	

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県	H21.8.1～8.31	千葉県公務員職場献血推進月間	県内各地	県民	献血協力者が減少する8月に、県内の公務員を対象に職場での献血の実施を呼びかけ、この時期に必要な血液の確保を図ることを目的とする。	県内38会場:採血618名実施

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
神奈川県	平成21年4月8日	県職員献血	神奈川県庁本庁舎前	県職員	血液量が落ち込む時期に、県職員による献血を実施。	
	平成21年8月13～14日	県職員献血	神奈川県庁本庁舎前	県職員	血液量が落ち込む時期に、県職員による献血を実施。	
	平成22年1月6～8日	県職員献血	神奈川県庁本庁舎前	県職員	血液量が落ち込む時期に、県職員による献血を実施。	

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H21.4、9、H22.1	県庁職員献血の実施	県庁	県庁職員	県庁職員に対して献血の協力を依頼。	延べ294名

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福井県	通年	県・市町庁舎献血	官公署	職員および来庁者	県庁や全市町での庁舎献血実施	

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	年間		県下各地	官公庁	公務員職場へは積極的に献血協力依頼を行ってきた経過があり、現在では、国、県、市町村を問わず定期的に移動採血車を受け入れている。また、血液センター在庫不足時の緊急呼びかけにも対応している。	<参考> 県庁 年4回実施 延べ414人 (4/6、8/31、12/28、1/5)

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
静岡県	H21.4～H22.3		県庁、県総合庁舎等	職員、来庁者	県庁及び県総合庁舎において、血液センターからの依頼に基づき、移動採血車による献血を実施した。	・県庁：11回実施 献血者303名 ・総合庁舎：7ヶ所 計14回実施 献血者計257名

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛知県	・平成21年8月11日(火)、12日(水)、13日(木) ・平成22年1月5日(火)、6日(水)、7日(木)	官庁街献血	愛知県西庁舎北駐車場	愛知県職員、名古屋市職員、近隣官公署職員、一般県民	夏場や年末年始の血液不足を解消するため官公署で献血を実施し、血液の安定供給を図る。	・平成21年8月11日～13日 献血者数631名(受付者数722名) ・平成22年1月5日～7日 献血者数573名(受付者数645名)

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
滋賀県	全血3回、成分4回	県庁献血	県庁内	県庁職員	県庁職員全体に呼びかけて献血を実施	全血144人、成分87人の献血者

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
京都府	21年5月7日 8月11、12日 22年1月6、7日	職員献血	府庁	府職員	府庁職員を対象にした職員献血の実施	
	1～2月、7月の月間時	愛の血液助け合い運動等	各振興局等	府職員、府民	各振興局職員等を対象にした献血実施	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大阪府	毎月第一水曜日	定例府庁前献血	府庁別館前	府職員及び来庁者	・庁内ウェブページ及び庁内放送で協力呼びかけ。 ・平成21年度実績：計17回実施、735人献血(臨時舎)	各市町村庁舎、自衛隊等においても随時実施。

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
兵庫県	平成21年4月、8月、1月	県庁職員献血	県庁	職員及び来庁者	年3回、職員及び来庁者を対象に献血会を開催し協力を呼びかけている。	出先機関でも定期的に実施している機関有
					④の中で官公署にも呼びかけを実施している。	

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
奈良県	H21.7.1～H21.8.31	愛の血液助け合い運動(街頭献血キャンペーン)	県内市町村	県民	各市町村の街頭において献血啓発運動を実施し、献血思想の普及啓発並びに血液が不足する夏期において安全な血液製剤を安定的に供給するため、献血者の確保を図る。	県内市町村 28ヶ所で実施 (参加者数：1874人・献血者数：1520人)
	H22.1.1～H22.2.28	はたちの献血キャンペーン(街頭献血キャンペーン)	県内市町村	県民	各市町村の街頭において献血啓発運動を実施し、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く県民各層に献血に関する理解と協力を求め、献血者が減少しがちな冬期における安全な血液製剤の安定的供給のため、献血者の確保を図る。	県内市町村 19ヶ所で実施 (参加者数：975人・献血者数：809人)
	①H21.4.24・27 ②H21.8.18・19 ③H21.10.19(緊急) ④H21.12.28・H22.1.8	県庁献血	県庁東棟「県民ホール」	県庁職員・県警職員等	年間3回(4・8・12月)と緊急時に県庁職員を中心に献血協力を呼び掛け、献血者の確保を図る。	①採血総数166名(受付総数177名) ②採血総数218名(受付総数240名) ③採血総数51名(受付総数54名) ④採血総数218名(受付総数240名)

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
和歌山県	年中	職場での献血	県内官公署	官公署職員	年度始めに、職員の献血に係る職務に専念する義務の免除の承認を得て、事前に各所属長に協力を依頼し、職員に献血協力を呼びかけた。また、各市町村担当課長に協力要請をおこなった。	

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
広島県	H21.5.12～13 H21.8.19～20 H22.1.7～8	県庁献血	広島県庁	県職員及び県庁構内団体職員	献血バスによる献血の実施	献血バスの稼動が少ない時期の血液確保(501名)

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山口県	通年	献血	各官公署			通常どおり
	4～6月	緊急時献血協力者名簿の作成	業務課	県職員・市町職員	県業務課において、県職員(出先機関も含む)及び市町職員に緊急時協力者名簿への登録を呼びかけ、名簿化して血液センターにDATAを提供している。	2,343名(県1,256名、市町1,087名)

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
徳島県		県庁職員成分献血登録制度		県職員	徳島県における安全な医療用血液の安定的な確保を図るため、県職員の成分献血者登録制度を確立し、県職員が組織的、定期的に成分献血に協力することにより、県民医療の万全を期することを目的とする「徳島県職員成分献血登録制度」要綱を策定。	登録者数の増加

## 【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
高知県	平成21年7月5日	愛の血液助け合い運動」月間キャンペーン	高知県高知市中央公園北口	幅広い年齢層	成分献血・400mL献血への協力を呼びかけるため、中央公園においてキャンペーンを実施し、夏場の血液の確保と啓発に努めた。	受付者数:91名 献血者数:70名 (200mL23名、400mL47名) 不適格者数:21名
	平成22年1月11日	第34回「はたちの献血」キャンペーン	高知県高知市秦南町 イオンモール高知南コート	幅広い年齢層	1月12日(成人の日)に、赤十字奉仕団や学生ボランティアの協力をいただき、イオンモール高知でキャンペーンを実施し、若年層を中心とする県民の皆様へ献血への協力を呼びかけた。	受付者数:111名 献血者数:92名 (200mL26名、400mL66名) 不適格者数:19名

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	H21.5.11～13 H21.5.18～20 H22.1.13～15	県庁職域献血	福岡県庁	県庁職員、来庁者	県庁本庁舎において、県庁職員を対象とする職域献血を年3回(計9日間)実施し、職員の献血に対する意識向上に努めた。	

## 【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大分県赤十字血液センター	H22.1.4	新型デザイン献血バス披露目式	大分県庁	報道各社、県庁職員	献血バスの更新に合わせて、新しくほどこされたバスのデザインを披露し、若年層にも親しまれ、動く広告塔としての役割も併せ持つバスのPRによる献血の啓発を目的とする。	庁内広報も行ったことにより、通常に比べ50人献血者が増加した

## 【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮崎県 宮崎県赤十字血液センター	通年	町、総ぐるみ献血参加運動	県内各市町村	県民	県や市町村の有するあらゆるネットワークを駆使し、市町村の隅々まで献血の呼びかけを行う	
宮崎県	平成21年度(5回)	県庁献血	宮崎県庁	献血者	庁内広報、ビラ配りによる呼びかけを行う	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鹿児島県	平成21年6月2日, 3日 平成21年9月1日, 2日 平成21年12月24日, 25日	県庁献血	鹿児島市(県庁)	県庁職員(一般県民)	一般企業の協力が得にくい時期を中心に, 県庁において, 年3回(6日間)献血を実施した。	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県 沖縄県赤十字血液センター		官公署各所献血	官公署各所	官公署各職員	陸・海・空自衛隊・国・県庁・県出先機関等で献血を実施	血液の安定供給を確保する

⑥地方における一層効果的な献血バスの運用

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	長野：H21.8月～ H22.3月 上田：H21.5月～ H22.3月 岡谷：H21.5月～ H22.1月 山形村：H21.5月～ H22.3月	定例献血スポットキャンペーン	長野市、上田市、岡谷市、山形村内の大型店舗	県民(来客者、通行人)	大規模駐車場を備え集客力のある大型店舗へ移動採血車を配車し、定例的な献血会場として定着させることで献血者の確保を図った。	献血者数：長野 443人／8回 上田 340人／4回 岡谷 236人／3回 山形村 241人／4回
	サマー：H21.7/18、 7/20 クリスマス： H21.12/6、12/12	学生ボランティアキャンペーン	長野駅前及び飯田市内の大型店舗	若年層を中心幅広い年代	献血者が減少する夏期と冬期に人が集まる場所へ移動採血車を配車し、学生ボランティアの協力を得て、サマーキャンペーン及びクリスマスキャンペーンを実施した。	献血者数：サマー 148人 クリスマス 136人

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長崎県	H22.1.8 H22.1.17 H22.1.22	はたちの献血キャンペーン	長崎短期大学(1/8) 献血ルーム「はまのまち」(1/17) 長崎大学(1/22)	学生を中心とした県民	大学等に献血バスを配車し、はたちを迎える若者を中心に献血協力の呼びかけ等を行う。	



⑦献血バスの駐車スペース確保についての検討

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
北海道	1回/月 (12/21・1/21・2/27)	低比重者等に対する健康相談	新さっぽろ献血ルーム	低比重者	献血の事前検査で低比重となった献血者を対象とした健康相談を行った。相談については、外部から栄養士を依頼する。	期間中の相談者数は9名(期間中の低比重者は17名)

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県					歩道乗り上げ、公園内等の施設許可を各市町村及び警察に依頼し、歩行者及び献血者の安全(パイロン等による区域、職員の誘導)を確保し実施した。	

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
三重県赤十字血液センター	平成21年11月3日	松阪市氏郷祭	三重県松阪市		道路使用許可を取り、献血バスの駐車スペースを確保した。	

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
奈良県	通年	駐車スペースの確保	街頭献血場所(大型スーパー等)	事業所等	なるべく人通りの多い場所に受付場所を設けて、なるべく受付場所の近くに献血バスを停められるように依頼する。	献血者増につながる。また副作用等の軽減にもなる。

⑧メディアによる繰り返しの啓発

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岩手県	H21.7	愛の血液助け合い運動	県内一円	県民	啓発ポスターを各保健所、市町村等に配布した他、県政番組を活用し啓発を図った。	・ポスター 計1,600枚配布 ・7/4 TV県政番組放送 1件
	H22.1~2	はたちの献血キャンペーン	県内一円	県民	啓発ポスターを各保健所、市町村等に配布した他、ラジオ、広報誌等により啓発を図った。	・ポスター 計2,200枚配布 ・1/8 ラジオ放送 1件 ・雑誌広告 2件

【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
栃木県	平成21年7月	「愛の血液助け合い運動」キャンペーン	県内	県民	ラジオやテレビによるスポットCM放送や県政広報誌への記事掲載により、400mL献血及び成分献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図る。	
	平成22年1~2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮及び109シネマズ佐野	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送のほか、県内2か所の映画館でシネアドの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図る。	・新成人へのリーフレット配布数 22,401枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H21.7~9、12 H22.1~2	献血啓発CMの上映	TV、シネマコンプレックスで映画の本編前にCMを上映するもの	一般県民	献血推進CMを作成し、TVや映画館で上映することにより献血の普及啓発を行った。	県内2箇所を実施。
	H22.1.11	「はたちの献血キャンペーン」イベント	ショッピングセンター	一般県民	ラジオ公開生放送による献血啓発活動及びLOVEメール会員募集イベントを実施した。	

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山梨県	H21.7.1~H21.7.31	愛の血液助け合い運動	甲府献血ルーム前(1箇所)、甲府駅ビル等	県民	街頭キャンペーンの実施。献血啓発CM放映。テレビ等によるPR。甲府駅ビルへの懸垂幕掲出。	
	H22.1.1~H22.2.28	「はたちの献血」キャンペーン	甲府駅ビル等	新成人を中心とした若年層	新成人への啓発物品の配布。甲府駅ビルへの懸垂幕掲出。テレビ等によるPR。	

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	12月~2月	”けんけつ”啓発ラジオマンズリー放送	全県	県民(聴取者)	献血者が減少する冬期に聴取率の高い時間帯の番組内で、平日毎日、同じ時間に献血への協力を呼びかけた。	放送回数:延べ64回
	H21.7月、H22.1月	ラジオスポット放送	全県	県民(聴取者)	全国的な献血キャンペーンの期間中に民放ラジオ2局でそれぞれ7日間ずつ献血への協力を呼びかけた。	放送回数:延べ28回

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
静岡県	H22.1~H22.3	「献血情報コーナー」の放送	静岡放送(AMラジオ局) 静岡エフエム放送(FMラジオ局)	県民	県内全域に放送しているAMラジオ局及びFMラジオ局において、毎週木曜日の午前中に「献血情報コーナー」(3分番組)の枠を設け、献血一口メモや週末の献血バスの情報を放送した。その中で複数回献血クラブの紹介をした。	AMラジオ7回、FMラジオ8回放送

【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
高知県	平成21年8月9日~平成22年3月21日(広告掲載期間)	献血啓発新聞広告制作・掲載業	高知新聞朝刊(週に1回で33回)	幅広い年齢層への広報	週に一度、前週の高知県の献血率とその状況に沿った献血の協力を求める内容の広告、また、イベント情報等を掲載した。	平成22年度に効果の検証をする
	平成22年1月11日~平成22年2月28日(CM放送期間)	献血啓発テレビスポット広告制作・放送委託業務	高知県の民報3局(146回)	若年層を中心とした広報	「はたちの献血」キャンペーン期間中に、「はたち」の若者を中心として、広く県民各層に献血の協力を呼びかけるテレビスポット広告の制作と放送を行った。	平成22年度に効果の検証をする

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
佐賀県	H21.8.3	献血ふれあいフェスタ	ゆめタウン佐賀(佐賀市)	一般、献血表彰者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献血推進協力団体に対する感謝状等の伝達、贈呈</li> <li>・地元アーティスト等によるミニライブ</li> <li>・ダンスステージ</li> <li>・献血バスによる献血(献血者142人)</li> </ul>	ラジオ局に委託することにより、ラジオでのCM放送等も行われた。 血液センターとの共催
	H22.1.10	はたちの献血'10	ゆめタウン佐賀(佐賀市)	一般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元出身歌手による献血トークやライブ</li> <li>・学生献血推進委員の活動発表</li> <li>・着ぐるみ「けんけつちゃん」による献血PR</li> <li>・献血クイズ</li> <li>・献血バスによる献血(献血者140人)</li> </ul>	ラジオ局に委託することにより、ラジオでのCM放送等も行われた。また後日、当日の様子も放送された。 血液センターとの共催
	H22.1~2	はたちの献血キャンペーン	イオンシネマ佐賀(佐賀市)	一般	映画館でけんけつちゃんを起用した献血啓発CM(静止画)を放映	
	H22.1	はたちの献血キャンペーン	109シネマズ佐賀(佐賀市)	一般	映画館で若者向けの献血啓発CM(動画)を放映	

⑨低体重やその他の理由により献血できなかった方への対応

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
秋田県	平成21年11月14日～30日	秋の献血感謝祭「健康づくりと献血」	献血ステーション(イオンモール秋田店) アトリオン献血ルーム	低比重者、栄養相談希望者	献血申込者の中で低比重により献血できなかった方へ、栄養士による健康相談をサービスとして実施し、少しでも改善につなげて献血が可能となることを期待。	後に、献血できた方もおり献血者にとっても、献血確保においても有効であった。また、献血者からこのようなサービスを行ったことに対しお礼のお言葉も頂いている。

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福島県	通年	栄養士による栄養指導、健康相談	福島県赤十字血液センター	献血者等	献血ルームにおいて、栄養士による栄養指導・健康相談のサービスを実施。	

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
群馬県	H21.11.23	献血感謝Day	イオンモール高崎	献血者	県内の献血者を対象に献血功労者表彰式・健康相談・AED講習会等のイベントを実施。イベント内に健康指導ブースを設け、主に当日献血できなかった方を対象に栄養士による健康相談を実施。	来場者数:280名 健康相談者数:7名
	H21.12.8～H22.2.23の間で延べ6回	献血者健康相談	献血ルーム(3カ所)	献血希望者	献血実施不可となった方を対象に、県内3カ所の献血ルームにて、述べ6回栄養士による健康相談を実施。	献血受付者数:368名 健康相談者数:36名

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県	H21.10～12月	健康相談	県内献血ルーム	献血不適格者	献血不適格者に栄養士による健康相談を行う。	5会場17回実施

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H21.4～H22.3	献血できなかった者に対する保健師による健康相談	献血協力企業など	献血の申込者のうち、低比重などで献血できなかった方	低比重不足などにより献血できなかった者に対し、保健師による健康相談を実施し、再チャレンジできるよう健康な献血者の確保に努める。	延べ54回、203名に実施。

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
石川県赤十字血液センター	日曜・祭日及びキャンペーン期間中	献血栄養相談	献血ルーム	来場者で相談希望者	管理栄養士による相談会	21年度前期103名、後期97名の相談者があった。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福井県	毎週月曜日	栄養士等による健康相談	血液センター	献血できなかった方等	栄養士による健康相談等	

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
三重県赤十字血液センター	献血キャンペーン時	健康相談	県内キャンペーン会場	低比重者等	三重県栄養士会の協力を得て、栄養指導、健康相談などのサービスを行った。	

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
京都府	21年9月～12月	健康づくりアドバイス事業	各大学内	府内献血実施大学生等	献血会場で低比重等で採血出来なかった者等を対象に栄養相談を実施	大学献血実施時23回、相談人数125人

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大阪府	H21.9.15～H22.3.31	緊急雇用創出基金事業「献血推進事業」	・府内3箇所の献血ルーム	府民	・大阪府赤十字血液センターに事業委託し、低比重により不採血となった者に対する栄養指導及び献血者からの栄養相談応需。	

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
兵庫県赤十字血液センター	H21年11月～H22年2月	健康相談	献血ルーム及び移動採血バス献血会場	献血不適格者を中心に	(社)兵庫県栄養士のケアステーション事業とタイアップし実施。※国庫補助事業	実施回数25回、参加者数135人

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
奈良県	平成21年10月～平成22年2月	献血者健康相談事業	血液センター・献血ルーム	低比重者等	献血できなかった献血者を対象に、栄養士が食事、生活面について指導し、再度献血にご協力いただけるように促す。	健康相談実施後に献血できた方がおられた。

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
和歌山県	年中	リーフレットの配布	献血実施場所	献血できなかった方	献血できなかった方に対して、献血現場で献血増進に役立つ健康アドバイス用リーフレットを県で作成し、血液センター看護師が不採血者に配布している。	

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鳥取県赤十字血液センター	H21.4～H22.3(11回)	栄養相談	移動採血会場	低比重の方	栄養士による指導	

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
広島県	H22.1～3の毎週火・木	健康相談	献血ルーム「もみじ」「ばら」	ヘモグロビン量、血圧等が採血基準に満たなかった者など	管理栄養士による健康相談	健康に対する意識の向上、次回献血

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山口県	主にイベント	栄養相談	献血会場	Hbの低い方	キャンペーン時に栄養士等による栄養相談を実施	8会場で実施

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛媛県	H22.2.14	移動採血車による採血現場	パーフェクトリハビリ教団今治教会	献血不適格者	愛媛県栄養士会員2名の管理栄養士による栄養指導。(20分～30分/1名)	初の試み。13名実施。
	H21.6.14～H21.6.15	世界献血者デー	大街道出張所(ルーム)	献血不適格者	松山市保健所保健師1名による健康指導。(20～30分/1名)	初の試み。18名実施。

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	随時	地域献血における食生活改善指導	一部の市区町村	各地域献血協力者	一部の市区町村において各地域の食生活改善推進協議会等と連携し、貧血予防食の紹介を行うなど食生活改善指導を行った。	

## 【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大分県	H22.1.13～2.1	保健所ブロック別献血推進検討会及び高校教諭との意見交換会	県下7ヶ所	保健所・市町村献血担当者及び高校教諭	各地域での献血推進の方策を検討。また、各市町村の栄養指導担当者にも出席いただき、献血不適格者の指導についても検討を行った。あわせて、高校教諭と高校生に対する献血推進についての意見交換会を実施。	

## 【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮崎県赤十字血液センター	通年			献血できなかった方	低比重者については、検診医師から「なるほど献血」パンフレットに基づき、生活指導を実施	
	9/30～2/25の各水曜日20日間	管理栄養士による栄養相談	献血ルーム「カリノ」	献血者及び献血できなかった方	管理栄養士による栄養相談、生活指導を実施	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鹿児島県	平成21年6月2日, 3日 平成21年9月1日, 2日 平成21年12月24日, 25日	県庁献血	鹿児島市(県庁)	県庁職員	献血時に低比重者へ「健康相談カード」を配布し, 相談者に健康管理室において食生活指導を行う。	
	平成21年1月20日(水)~毎水曜日(6回)	ホリスティックヘルスアカデミー	鹿児島市(血液センター)	一般県民(20~59歳)	食養生, ヨーガ, アンチエイジングなどの新しい健康増進手法による, 健康レベルの向上と疾病予防を推進し, 採血基準に満たない方の減少を図る。	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県赤十字血液センター	H21.10.24~H22.2.27	低比重者に対する健康相談会	献血ルーム	低比重で献血ができなかった方	低比重で献血ができなかった方へ健康相談を実施し次回ご協力できるようにサポートする	

⑩新採血基準移行への準備

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
秋田県	通年	高校献血の実施	県内各高校	県内各高校生	本県では、高校献血を年1回以上実施するよう努めており、今後も継続的に献血を実施していく中で、17歳の400mL献血を実施についても理解を求めます。また、献血キャンペーンに参加する高校生ボランティアに対し、血液センター職員、保健所職員が献血の意義、重要性を伝えている。	

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県					教育委員会、高等学校及び市町村献血推進協議会に主旨説明を行った。	

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福井県	平成21年4月	高等学校普及啓発	県庁	高等学校校長	高等学校校長会に出向いて献血普及啓発の協力要請	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大阪府	H21.9.1～H21.9.30 (募集) H21.12.1(発表)	熱血献血キャンペーン 「ちよつといい献血・輸血の話大募集」	・大阪府内の高等学校、専門学校、市町村等に募集告知用チラシを配布 ・大阪府HP、雑誌等における募集告知	若年層を中心に幅広い年代	・若者が「献血しよう」と思いうような「献血」又は「輸血」を題材とした50文字以内のエピソードを募集。 ・優秀作品(大阪府知事賞2作品、入賞4作品)は、カレンダーをはじめ、様々な広報啓発に活用。	全国から113作品の応募。
大阪府赤十字血液センター	H21.7.4～H21.7.5 H21.8.8 H21.9.19 H21.12.19～ H21.12.23 H22.1.9	・「七夕献血」キャンペーン ・「サマー献血」キャンペーン ・「オータム献血」キャンペーン ・「クリスマス献血」キャンペーン ・「はたちの献血」キャンペーン	・HEP FIVE前他1箇所(延4箇所) ・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他2箇所 ・HEP FIVE前他1箇所 ・HEP FIVE前他5箇所 ・HEP FIVE前他2箇所	府民	大阪府学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけ。	

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
兵庫県				市町	市町献血担当者会議等で、以降に向けての法整備の進行状況等を情報提供。	

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
徳島県		保健所管内献血担当者会議	保健所	市町村、事業者	担当者に新採血精度についての概要の説明を行った。	登録者数の増加

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大分県	H21.4.15	高等学校長への高校献血推進強化事業への協力依頼について	大分市トキハ会館	高等学校長	高等学校校長会総会において、献血の現状を説明し、高校での献血推進について協力を依頼。	
	H21.8～9	大分県薬剤師会員への献血推進の協力依頼	県下10ヶ所	大分県薬剤師会員	薬剤師会員に対し、献血の現状の講話を行い、推進への協力を依頼。	大分県薬剤師会員267名に依頼
	H21.9.27	献血推進リーダー養成研修会	大分県薬剤師会館	学校薬剤師	学校薬剤師に対し、献血推進リーダーとして各高等学校での献血啓発活動を行うための養成研修会を実施。	
	H21.7～H22.3	高等学校に対する献血の推進	大分県内高等学校	教諭及び生徒	各学校での献血推進リーダーによる啓発と、校内献血への協力を依頼。	高校8校で生徒に対して啓発を実施。また、6校で校内献血を実施。

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮崎県赤十字血液センター	通年		献血ルーム「カリーノ」	献血者	献血ルームに、映像配信システムを導入し、新採血基準移行について広報を行う。	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鹿児島県	平成22年2月16日、17日	献血出前講座	鹿児島市(各高校)	高校生・教師	献血の現状、必要性の講義の中で、特に校長や教職員に対して、献血基準変更等について説明を行い、献血への協力を求めていく。	

⑪その他

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
北海道	平成21年11月～12月	ティーンズドナー献血推進キャンペーン	道内一円	10歳代から20歳代の道民	近年、10歳代から20歳代の献血者が減少傾向にあることから、これらの年齢層に対する普及啓発を強化するため、血液センターと共催で若者を対象とした事業を実施した。	ラジオコマーシャルの制作・放送： スポットCM 50本 人気ラジオ番組とのタイアップ ポスターの作成：1,000枚
	平成21年7月9日～10日	愛の血液助け合い運動パネル展	道庁1階 特設展示場 B	地域住民	愛の血液助け合い運動月間の一環として「献血パネル展」を開催した。	来場者 161名
	平成22年1月4日～6日	はたちの献血ポスター展	道庁1階道政広報コーナー	地域住民	はたちの献血キャンペーンの一環としてポスター展を開催した。	来場者 349名
	平成22年2月	献血推進タウン啓発	北見市、倶知安町	地域住民	安全な血液製剤の安定供給の確保に向け、道内各地で行われるイベントと連携し、地域の実情に応じた普及啓発を行い、道民に対し広く献血思想の普及を図る。	
	平成21年9月	北海道社会貢献賞の表彰	帯広市(北海道公衆衛生大会)	献血推進功労者	献血の推進に組織を挙げて多大な功績があった団体や学校等を表彰した。	表彰者数：10団体
	平成21年8月、平成22年1月	北海道学生献血推進協議会	北海道赤十字センター	道内学生献血推進ボランティアグループ	全道の学生ボランティアグループが北海道センターに集まり、キャンペーンの実施内容検討及び今後の若年層への献血推進についての討議を行った。	参加者 29名
	平成22年3月	北海道献血推進協議会	札幌市	関係団体の代表者	本道において必要とされる血液製剤の確保を図るために、来年度の血液事業の推進方策について協議するために開催する。	

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山形県	H21.7.1～H21.9.30(募集)	山形県献血推進ポスターコンクール		山形県内の中学校、高等学校及び特別支援学校(中学部・高等部)の生徒	次世代の献血を担う中学生及び高校生に対して献血ポスターを募集し、県庁及び総合支庁ロビー等において展示会を開催することにより献血の普及啓発を図った。	応募数 中学生 169点 高校生 2点
	通年	献血街頭キャンペーン	定点献血会場、イベント会場等	県民	定点献血会場及びモンテディオ山形ホームゲーム等の人が多く集まる場所において、献血啓発資材を配布し、献血の普及啓発を図った。	県内17ヶ所で実施
	通年	学生献血協力サークルの育成	山形市内の大学等	大学生等	大学における既存サークルの協力を得て、献血者不足等の情報提供及び献血希望者の募集等を行う体制を構築し、学生献血者の増加を図った。	協力サークル数 2大学 16サークル
	通年	さくらんぼ献血予備隊の育成	県内中学校	中学生(主として3年生)	まもなく献血が可能になろうとする中学生(主として3年生)に対し、献血のしくみや必要性について啓発を行い、将来に向けた安定的な献血協力体制の基盤整備を図った。	中学校47校に対し啓発資材配布 うち14校で献血に関する講演を実施

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県	H21.7.4	愛の血液助け合い運動	(株)そごう千葉店前広場並びにクリスタル広場	県民	広く県民に献血への理解と協力を求めることを目的に、主催者出席による運動月間オープニングセレモニーの実施と「ポートクイーン千葉」によるうちの配布並びに献血へ呼び掛けを実施した。	アトラクションとして、県警音楽隊によるミニコンサート実施。採血78名実施
	H.21.8.9	学生サマーキャンペーン	ららぽーとTOKYO-BAY	県民	夏場の血液不足を補う手段の一つとし、若年層への献血の理解と協力を促す事を目的とする。献血会場にて献血への呼び掛け等を実施。	約26名の学生が呼び掛けをする。(採血69名実施)
	H.21.9.11	ライオンズクラブ国際協会333-C地区献血推進研究会	ホテルスプリングス幕張	県内ライオンズクラブ	県内ライオンズクラブを対象に、今後の献血奉仕活動に生かすために、日頃の献血奉仕活動に対する意見交換や、事例発表などを実施した。	111クラブの115名参加、全クラブへ献血サポーターの普及及び新型インフルエンザ対応の緊急献血をお願いした。
	H21.10.28	千葉県献血感謝のつどい	千葉県文化会館	献血功労者及び献血協力推進団体	県内において献血功労者及び献血協力推進団体に対して、表彰する。また、中・高校生から献血推進啓発ポスターを募集し、それぞれ知事賞2名・千葉県健康福祉部長賞4名・千葉県赤十字血液センター所長賞4名を選び、表彰した。	表彰団体：314団体 献血推進啓発作品：10名
	H.21.12.13 H.21.12.20	学生クリスマスキャンペーン	ららぽーとTOKYO-BAY	県民	全国統一キャンペーンを12月に行うことにより、冬場の血液不足を補う手段の一つとし、若年層への献血の理解と協力を促す事を目的とする。献血会場にて献血への呼び掛け等を実施。	学生クリスマス献血キャンペーン12月13日ららぽーとTOKYO-BAY(採血60名実施)・12月20日ららぽーとTOKYO-BAY(採血69名実施)
	H22.1.10	はたちの献血キャンペーン	イオンモール千葉ニュータウン店	県民	特に献血協力者数が減少傾向となる冬期に、広く県民に対し献血への理解と協力を求めることを目的として、主催者出席によるオープニングセレモニーを実施。併せて、「千葉ロッテマリーンズ」選手とマスコットによるトークショー、サイン会、献血クイズ等のイベント並びに献血呼び掛け等を実施した。	採血76名実施 千葉ロッテマリーンズ 唐川侑己選手
	H22.3.1～3.31	千葉県献血推進強調月間	県内各地	県民	献血者が減少する3月を本県独自の運動期間と定め県内各地の献血会場において啓発資材の配布を実施した。	



## 【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
茨城県	H21.11.1～H22.3.31	高校献血キャンペーン	献血ルーム、高等学校	高校生	・ポスターコンクールによる啓発ポスター、チラシの作成・配布 ・献血ルーム等でのアンケートの実施、記念品配布	ポスター応募239点 アンケート協力者 700人
	H21.11.16～ H22.1.31	献血出前セミナー	高等学校、事業所	高校生、一般	出張献血セミナーの開催(3回)	参加人数 120名
	H21.8.4～H21.8.5	AED等講習会	献血ルーム	一般	AEDの取り扱い及び赤十字救急法短期講習会の開催	参加者 6名

## 【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
新潟県 新潟県赤十字 血液センター	H21.7.31(録音) 8.6(放送)	09サマーキャンペーン「献血に行こう」(ラジオ公開録音)	献血ルームばんだいゆとりろ	若年層を中心に幅広い年代	1年の中で最も暑く、献血に対する協力が得にくい時期ということを鑑み、主に若年層を対象とした献血PRイベントを行うことで協力姿勢・動機を促進。献血の思想の普及、新規献血者及び8月の献血者確保を目的とする。	募集50人のところ、98人から応募があった。来場者参加型の構成が好評であった。
	H22.1.23(録音) 1.28(放送)	はたちの献血キャンペーン2010 (ラジオ公開録音)	リバーサイド千秋		献血PRイベントを行うことにより、特に若年層への献血思想の普及を図るとともに、献血者が減少しがちな冬期における献血者確保を目的とする。	約200人と多くの観衆があった。ステッカーキャンペーンを行い658人に配布するなど献血の周知に大きな効果があった。
	随時	献血普及講演会	高等学校	高校生	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図る。	9校が実施
		献血ルーム見学会	献血ルーム	中学生～高校生		4校が実施
	H21.7.23	新潟県献血功労者表彰式	新潟県自治会館	献血推進団体	献血推進に功績のある団体及び個人に対して表彰を行う。	大臣表彰 2件 大臣感謝状 6件 知事感謝状 16件 日赤新潟県支部長感謝状 7件
	H22.3.13	新潟県輸血フォーラム	新潟大学医歯学総合病院	輸血医療関係者等	輸血療法を適切に行う上での諸問題についての理解を深め、もって血液製剤使用のより一層の適正化を図る。 (内容)合同輸血療法委員会、研究発表、講演会	
	H21.9.26	トキめき新潟国体でのPR	東北電力ピクニックスタジアム		資材を配布し、献血への協力を呼びかけ、普及啓発を図る。	
新潟県赤十字 血液センター	H21.5.9～5.10 / 10.10～10.11	古町どんどんでのPR	古町	若年層を中心に幅広い年代	学生献血PRボランティアが街頭キャンペーンを実施し、献血への協力を呼びかけ、普及啓発を図る。	
	H21.12.23	クリスマス献血キャンペーン	万代シティバスセンター			

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
石川県	H21.7.1～H21.10.31 (募集) H21.12.24 (表彰式) H21.12.9～H22.1.12 (展示会)	献血ポスターコンクール入賞者 表彰式	県庁特別会議室	県内中学校	県内中学校を対象に、献血に関するポスターの公募を行い、献血できる可能年齢に達した際にも、献血に対する抵抗が少なくなることを期待する。	32校331点の応募があった。
	H21.7.1～H21.8.31	バス車内広告	県内全域路線バス	県民	全国的に実施している7月の愛の献血助け合い運動に併せて、県民への普及啓発を目的とする。	
	H21.10.24 H21.10.31	大学学園祭会場での献血キャンペーンの実施	金城大学 金沢大学医学部	大学祭参加者	若年層に対する普及啓発と移動採血車を設置し、献血の体験を実施する。	
	各市町成人式	新成人対象啓発	成人式会場	県内全新成人	各市町における成人式出席者に啓発資材等を配布	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山梨県	H21.12.5	献血功績者表彰式	県民文化ホール	献血功績者	献血功績者表彰(厚生労働大臣表彰・感謝状、知事表彰、日赤表彰)	
	H21.6.12～H22.3.31	献血地域キャンペーン	各保健所管内(5箇所)	県民	各保健所管内において献血モデル市町村を選定し献血啓発活動を実施。	

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岐阜県	H21.10.28	献血感謝の集い	未来会館 長良川ホール	一般、関係者	・献血推進功労者表彰 ・献血推進ポスター入賞者表彰	400名が参加
	H21.6.22～H21.9.4	献血推進ポスター募集	表彰は、「献血感謝の集い」で実施	中学生	県民により一層献血への関心を持っていただき、献血協力の機運を盛り上げることを目的に募集した。 大賞1、入選2、佳作5を選定	15点の応募

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
滋賀県	平成21年8月2日	「サマー献血」	JR近江八幡駅南口	若年層・周辺住民	学生献血ボランティアによる献血啓発活動	67人の献血者
	平成21年12月23日	「クリスマス献血キャンペーン」	JR近江八幡駅北口南口	若年層・周辺住民	学生献血ボランティアによる献血啓発活動	207人の献血者
	平成22年1月6日	「はたちの献血」キャンペーン	ビバシティ彦根	成人式を迎える者・地域住民	地域献血推進団体による献血啓発活動	52人の献血者
	平成22年1月10日	「はたちの献血」キャンペーン	ららぽーと守山	成人式を迎えた者・地域住民	青年赤十字奉仕団による献血啓発活動	143人の献血者
	平成21年8月6日	平成21年度滋賀県愛の献血感謝のつどい	栗東芸術文化会館さくら	受賞者・日赤奉仕団等献血啓発協力者	献血功労者に対する表彰状等伝達・贈呈式および桂こけ枝氏による記念講演	287名の参加

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
奈良県	①H21.4.1～ H21.6.12(募集) ②H21.7.30(表彰)	献血運動啓発ポスター募集	①県内へ広報し、募集 ②県庁にて献血功績者と併せて表彰	①県内在住・在学・在勤の方 (年齢制限なし) ②特選・入選者	広く県民に献血についての理解を深め、献血運動推進のPRに役立てるために実施。	①応募数 107 作品 ②対象:特選1点・入選4点
	①H21.8.4～ H21.8.11(展示) ②H21.8.17～ H21.8.31(展示)	献血運動啓発ポスター入賞作品の表彰及び展示	県内大型スーパー2店舗内 ①イオンモール橿原アルル ②奈良ファミリー	「献血運動啓発ポスター」入賞(特選・入選・佳作)作品 (20点)	幅広い年齢層の優秀作品を展示することにより、広く県民各層に献血運動をPRし献血に対する理解と協力を求めることとする。	対象:特選1点・入選4点・佳作15点
	H21.7.30	献血功績者表彰式	県庁	献血に功績のあった者を表彰	献血に対する県民の理解を深め、献血運動を推進するため、献血に功績のあった者を表彰する。	①厚生労働大臣表彰の伝達:8団体 ②献血推進協議会会長(知事)表彰:12団体 ③「献血運動啓発ポスター」入賞者表彰:5名
	H22.2.20	献血啓発協力者研修会	やわらぎ会館	奈良県学生献血推進協議会 奈良県献血奉仕団 奈良県内大学・短大・高専ボランティア団体等 献血協力機関及び献血協力団体に所属し、献血啓発に携わっている方	積極的に普及啓発を行っていただいている機関及び団体が一堂に会して意見交換を行ったり、献血活動に従事し活躍されている外部講師による講演会等の内容を盛り込んだ研修会を実施することで、より効果的な啓発を行っていただくことを目的とする。	参加者:35名
	H22.2.1	献血協力活動覚書調印式	県庁	①社団法人奈良県建設業協会青年部会 ②奈良県製薬協同組合	新型インフルエンザ集団時や災害発生時等の血液が大幅に不足する緊急時に備え、積極的に献血協力活動を実施する内容の覚書を締結する。	申出があった2団体が「奈良県献血推進協議会」並びに「奈良県赤十字血液センター」と各々の各代表により三者締結を交わし、4月1日より適用。

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
和歌山県	平成21年7月1日～31日	愛の献血助け合い運動キャンペーン	県内各地	県民	献血に対する理解を深めてもらうこと目的にボランティア団体の協力を得て、街頭啓発とあわせて献血を実施した。	
	平成21年7月28日	献血運動功労者に対する表彰及び感謝状の贈呈	県庁知事室	献血運動功労者	献血運動功労者に対する厚生労働大臣表彰状・感謝状及び県知事感謝状を贈呈し表彰することにより、献血運動の継続的な発展を目的とする。	大臣表彰2団体 大臣感謝状4団体、1個人 知事感謝状14団体、1個人
	平成21年5月～10月(応募期間)	献血推進ポスターコンクール	和歌山県自治会館(表彰式)	県内全中・高校生	県内の中・高校生を対象にポスターコンクールを実施し、参加型啓発として献血に対する理解を深めてもらうことを目的として実施した。	応募総数125作品 高校生 88作品 中学生 37作品
	平成21年12月～平成22年2月	年末年始・はたちの献血キャンペーン期間に献血のPR	県内全般	若年層を中心とした一般県民	献血不足時期、メディアでの毛初やイベント(フットサル大会)でPRと献血を実施した。	地元ラジオ・テレビでスポット放送実施
	平成21年12月10日	献血及びび性感染症に関するシンポジウム	県立古座高等学校	生徒・教員	保健所職員・教員・生徒をパネリストにパネルディスカッション形式のシンポジウムを行い献血の理解を深めた。	約240人
	平成21年12月～1月	県学生献血推進キャラバン隊による和歌山県縦断献血推進活動	県下7ヶ所	若者をはじめとする県民	県学生献血推進協議会主催で県内縦断して各地で献血を実施し県民に献血の重要さと献血を呼びかけた。	献血者585名(受付831名) 延べ205名の学生が参加
	平成21年9月12日、9月22日、10月24日、11月3日	高校出前教室	県立日高高等学校 県立紀央館高等学校 県立古座高等学校 県立串本高等学校	高校生	高校文化祭等において、思春期出前講座を開催し献血思想及び献血協力の普及啓発をおこなった	
	平成21年10月7日、11月27日 平成22年2月23日	高校生献血学習	県立慶風高等学校 県立大成高等学校 和歌山市立和歌山高等学校	高校生、教員	県内高校生を対象に外部講師を招き、体験談を交えて献血の重要性を語ってもらう「高校生献血学習」を実施している。その後日程を改め献血体験してもらった。	

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岡山県	H21. 4. 26 H21. 5. 10 H21. 6. 13	ももたろう献血キャンペーン	イトーヨーカドー岡山店 新見公立短期大学 イトーヨーカドー岡山店	学生及び社会人を中心とした一般県民	県学生献血推進連盟主催により4月から新たに学生または社会人となる方を中心として県民に献血に対する理解を深めていただき、血液の安定的確保のため献血を呼びかけた。	献血者数 イトーヨーカドー岡山店(84名) 新見公立短期大学(37名) イトーヨーカドー岡山店(54名)
	H21. 6. 14	赤十字思想誕生150周年記念世界献血者デー・イベント「サンクスドナーAED&愛の献血」	岡山駅前ターミナルスクエアビル12階ホール及び周辺	ももたろうEメールクラブ会員及び一般、献血協力者	赤十字思想誕生150周年を記念して、6月14日の世界献血者デーにあわせ参加者に対し、血液事業の講演及び救急法(蘇生法AED)講習会を実施し、普及を図った。また、当日、ターミナルスクエアビル前での街頭献血を実施するとともに、ビル付近の通行人に対し、世界献血者デーPR「うちわ」を配付し、献血への協力を呼びかけた。	救急法(蘇生法AED)講習会は大変好評であった。 献血者数(38名)
	H21. 7. 1	「岡山県愛の血液助け合い運動」月間オープニング行事	岡山駅前ターミナルスクエアビル12階ホール及び周辺	県民各層	初日事業としてオープニングセレモニーを開催し、その後、岡山県学生献血推進連盟の学生が隊長となり、県、日本赤十字社岡山県支部、岡山県赤十字血液センター各職員で構成したキャラバン隊が3県民局等を訪問し、岡山県献血推進協議会長のメッセージ及び啓発資料を届け、献血への理解と協力を呼びかけた。また、当日実施のターミナルスクエアビル前での街頭献血への協力を求めた。	構成したキャラバン隊が3県民局等を訪問することで、広く県民に対し、献血に関する理解と協力を求めた。 献血者数(47名)
	H21. 7. 5	七夕献血キャンペーン	イトーヨーカドー岡山店	県民各層	県学生献血推進連盟主催により学生及び新社会人を中心として県民に夏場の血液不足を補うため献血を呼びかけた。	献血者数(70名)
	H21. 7. 31	献血感謝のつどい	ピュアリティまきび	厚生労働大臣表彰等各受賞者他	献血に功労のあった団体・個人に対して、厚生労働大臣表彰・感謝状の伝達並びに知事・日本赤十字社県支部長及び血液センター所長感謝状の贈呈を行った。また、大相撲・琴禮閣によるトークショーを行った。	46団体・個人14人に対して表彰を行った。
	H21. 9. 13	中国四国学生統一献血キャンペーン	イトーヨーカドー岡山店	若年層を中心とした一般県民	中国四国学生献血推進協議会が中心となり、広く一般の方々に献血に協力してもらおうとともに若年層への献血思想の普及を図った。	献血者数(61名)
	H21. 10. 5~10. 16	海外血液事業研修生受入事業	岡山県赤十字血液センター	中国紅十字会(1名) ベトナム赤十字社(1名)	アジア諸国の血液事業向上に資するため、中国紅十字会とベトナム赤十字社の研修生を受入れた。	来岡された研修生は2名とも事務職員で、主に「献血者募集」をテーマに研修を行った。
	H21. 10. 25 H21. 11. 7	わくわく献血キャンペーン	岡山商科大学 岡山県立大学	大学生を中心とした若年層及び一般県民	県学生献血推進連盟主催により県内大学祭会場において若年層を中心として来場の方へ献血を呼びかけた。	献血者数 岡山商科大学(69名) 岡山県立大学(122名)
	H21. 10. 27~10. 28	献血推進団体との意見交換会	メルパルク岡山	中国・四国地区ライオンズクラブ 中国・四国地区献血推進担当職員	献血推進団体の中心的存在であるライオンズクラブの各リーダーの方々を招き、献血へのより一層の理解と協力を要請し、相互の連携強化を図るため、血液センター職員と意見交換を行った。	各県の献血状況説明及び3グループに分かれて献血の推進についての意見交換を行い、より一層の献血への理解と協力をお願いした。
	H21. 12. 19 H21. 12. 23	クリスマス献血キャンペーン	イオン津山ショッピングセンター イトーヨーカドー岡山店	若年層を中心とした一般県民	県学生献血推進連盟主催により若年層を中心とした県民に冬季に不足する血液確保のため、献血を呼びかけた。	献血者数 イオン津山ショッピングセンター(128名) イトーヨーカドー岡山店(115名)
	H22. 1. 7	はたちの献血キャンペーンオープニングイベント「1日所長」委嘱式	岡山県赤十字血液センター	県民各層	献血者が減少しがちな冬季において安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、広く県民各層に対し献血思想の普及を図ることを目的として実施した。	県学生献血推進連盟の学生代表者に1日所長を任命するための「1日所長」委嘱式を行い、施設内視察後、報道機関及び献血会場を訪問して、献血への理解と協力を訴えた。
H22. 1. 31	第4回いのちと献血俳句コンテスト 岡山センター所長賞(授賞式)	岡山県赤十字血液センター	若年層を中心に幅広い年代	若年層を中心に幅広い年代から献血に関する俳句の公募を行い、人命の尊さ、助け合いの大切さや献血の理解につながることを目的として実施した。	全国約30万句の応募のなかより、岡山県においては、岡山センター所長賞1名、入選5名、団体賞3団体が受賞した。	

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
香川県	H21.7.4	1日血液センター所長	イオン高松ショッピングセンター	県民	地元プロバスケットボールチームの選手に1日所長を委嘱し、献血キャンペーン及び街頭献血を実施。警察音楽隊の演奏や啓発品の配布、献血に関するクイズ等を行い、献血への協力呼びかけをした。	
	H21.7.18 H22.1.24	高校生街頭献血キャンペーン	ゆめタウン高松 ゆめタウン丸亀	高校生	高校生献血ボランティアに献血に関する学習をもらった後、店内で献血への協力呼びかけを実施。あわせて街頭献血も行った。	高校生を対象に献血ボランティアを募集したところ、延べ15校57名の参加があった。
	H21.7.24	献血運動推進全国大会厚生労働大臣表彰状等伝達式	県庁	献血優良団体	厚生労働大臣表彰状・感謝状等の伝達を行った。	
	H21.8.15	学生献血推進協議会主催キャンペーン	ゆめタウン高松	学生献血推進協議会	夏場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。	広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H21.8.17 H21.9.5 H21.11.7 H21.11.15	高校生献血サポーター事業	献血ルーム 琴平高校文化祭 住民献血実施場所	高校生	高校単位で献血サポーターを募り、献血ボランティアを体験してもらった。琴平高校では、学校の文化祭で献血ブースを出し、サポーター自らが企画運営を行った。	学校と協議しながらボランティア内容を決定した。
	H21.12.20	クリスマス献血キャンペーン	イオン高松ショッピングセンター	学生献血推進協議会	冬場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。献血協力者へはクリスマスケーキをプレゼントした。	広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H22.2.23	献血車新車披露式	県庁	県民	日本宝くじ協会から新たに寄贈された献血車を披露。マスコミに取材を依頼し、新車をPRした。	

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛媛県	H22.1.26			英国渡航歴のある方	封書により、英国渡航歴緩和についての説明書等を送付	551名へ送付。

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	H21.7.23	第43回福岡県献血運動推進大会	朝倉市総合市民センター 「ビーポート甘木」	献血功労者及び県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催。献血功労者に対する表彰、献血に関する体験発表等を行い、県内における献血思想の普及啓発を図った。	
	H21.11.17	福岡県市町村献血推進協議会連合会理事会	福岡県庁	理事	県内の市区町村献血推進協議会の事業に関する連絡調整及び円滑な運営を図ることを目的とする。理事会においては、市区町村献血推進協議会の事業に対する、補助金配分案等について協議を行った。	
	H21.11.26	第13回福岡県輸血療法委員会合同会議	福岡県吉塚合同庁舎	血液製剤を使用する医療機関の医師、薬剤師、臨床検査技師等	血液製剤の使用適正化に密接な関係にある医療現場における輸血について、適正な輸血療法の推進を目的として開催。輸血療法に関する研修や、輸血業務に関するアンケートの集計結果を基に今後の課題検討等を行った。	
	H22.2.17	福岡県献血推進協議会	福岡県吉塚合同庁舎	委員	次年度の献血推進計画を策定するとともに、その他献血組織の育成強化、献血思想の普及を図るための広報活動等を行った。	
	H22.3.29～	初回献血者の採血副作用防止対策	福岡県内移動献血会場及び固定施設(献血ルーム等)	初回献血者	初回者に採血後副作用のリスクとその対応策等の情報を提供し、初回献血者とわかるネックストラップ式カードケースを身につけていただき、全職員が初回献血者に注意を払い採血副作用の防止に努める。	

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長崎県	H21.7.16	第45回献血運動推進全国大会	アルカスSASEBO(佐世保市)	献血功労者、献血推進協力団体、一般県民	国内の医療に関するすべての血液製剤を献血により確保することを目指し、国民一人ひとりが献血の重要性を再認識し、特に今後一層の推進が望まれる成分献血及び400ミリリットル献血への理解を深め、献血運動が全国で盛り上がり、我が国の血液事業を一層発展させるため、本大会を開催した。	参加者 約2,100名
	H21.7.12	献血サマーイベント2009	献血ルーム「はまのまち」(長崎7/12)	県民	学生ボランティアが主体となり、献血協力の呼びかけ等を行う。	
	H20.7.4	血液センター「一日所長」行事	佐世保四ヶ町アーケード 献血ルーム「はまのまち」	県民	2名の方に血液センター「一日所長」を委嘱し、献血協力の呼びかけ等を行う。	
	H21.12.12 H21.12.13	全国学生クリスマスキャンペーン2009	献血ルーム「はまのまち」(12/12~13) 献血ルーム「西海」(12/13)	県民	全国的なキャンペーンとして、学生ボランティアが主体となり、献血協力の呼びかけ等を行う。	
	H22.1.10	成人の日献血	献血ルーム「西海」	新成人を中心とした県民	成人式会場や献血ルームにて献血協力の呼びかけ等を行う。	
	2010/1/9 2010/1/31	長崎学生献血推進協議会	日本赤十字社九州血液センター	学生ボランティア	学生ボランティアが集まり、活動状況報告やグループ討論を実施し、献血に対する理解を深める。今年度は、血液製剤の製造等に関する知識を修得した。	
	H21.11.4~H22.1.15 (募集)	献血推進ポスター募集		県内中学生、高校生	若年層へ献血についての一層の普及啓発と広報活動を行うため、献血をテーマにしたポスターデザインを募集。	応募数 61点(中学生44点、高校生17点)
	H22.2.18~2.20	冬場の献血者確保キャンペーン	県内一円	県民	献血者が減少する冬場の献血者を確保するとともに、新たな献血協力者の開拓を図るため県内市町及び献血ルームでイベントを行いながら献血への協力を呼びかける。	献血者数894人

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大分県	H21.7.18~H21.7.19	大分県学生献血サポーター	九石ドーム、大分市、竹田市	県民	学生献血推進協議会のメンバーと、市街地でのパレードや、各献血会場での献血の呼びかけを行った。また、J1リーグの地元チームの試合前に、ピッチで観客に献血のPRを行った。	5校 16名参加 献血者数 161名
	H21.8.20	九州ブロック学生献血推進協議会代表による大分県知事表敬訪問	県庁	県民	九州ブロック学生献血推進協議会の代表が大分県知事を表敬訪問し、献血啓発に対する決意メッセージを伝達。献血の重要性を県民に対し発信した。	
	H21.12.20	学生クリスマス献血キャンペーン「ふれあい広場」	大分県赤十字血液センター	県民	若年層を中心に献血クイズなど献血の啓発活動を行った。会場には、屋台等多くの模擬店を出店した。	来場者630名 献血者122名
	H22.1.10	はたちの献血キャンペーン街頭広報	大分市成人式会場	新成人	成人式会場で、新成人に献血のPRを行った。	
	H21.7.1	「愛の血液助け合い運動」街頭広報	大分市トキハデパート前	県民	献血協力の街頭広報を行い、献血のPRのうちわやポケットティッシュを配布した。	37名参加
	H22.2.17	大分県献血推進協議会	大分センチュリーホテル	委員	今年度血液事業実績の報告と来年度の献血目標等について協議した。	
	H22.3.3 H22.3.12,16 H22.3.15	血液製剤使用適正化説明会	日田市、玖珠町、九重町 大分市、由布市 国東市	医療機関	血液製剤の適正使用について医療機関に説明会を開催した。	
大分県赤十字血液センター	H21.7.1	愛の血液助け合い運動月間広報	大分合同新聞に広告掲載	幅広い年代の個人、企業・団体	1年間の献血協力団体一覧を掲載し、協力団体への感謝と未協力団体への意識付けを図り、幅広い年代への献血の啓発と献血ルームのPRを目的とする。	
九州ブロック赤十字血液センター連盟 九州ブロック学生献血推進協議会	H21.8.20	愛の献血ふれあいフェスタin大分	九州ブロック赤十字血液センターが持ち回りで担当し、各県学生献血推進協議会の運営で大分市内のイベント会場で開催	10代・20代の若者を中心とした幅広い年代	九州各県の学生献血推進協議会の活動発表や輸血、献血に関する講演会やイベントをとおり、献血への理解と協力を呼びかけることを目的とする。	九州8県10ブロックの学推協学生95人と各県血液センター関係者25名、一般約50人が参加。

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県	H22.1.11	成人式での知事メッセージ伝達	県内成人式会場	二十歳の成人	「はたちの献血」の一環として、新たに成人式を迎える若者へ成人式会場において、知事メッセージを送る	新たに成人を迎えるにあたり、献血への理解と協力を求める
沖縄県 沖縄県赤十字 血液センター	H21.7.6	愛の血液助け合い運動 街頭 キャンペーン	県内	県民	広く県民に献血への理解と協力を求める	全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がりと周知を図る
	H21.7.30	厚生労働大臣、県知事表彰、 日赤支部長及び県血液セン ター所長表彰の伝達式	県内(県庁内)	受賞団体及び個人	愛の血液助け合い運動の一環として、厚労大臣表彰及び県知事表彰等の伝達式を行う	全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がりと周知を図る
	H21.7.21～22	市町村献血キャラバンの実施	沖縄県離島 (宮古・八重山地区3市町村)	県民	愛の血液助け合い運動の一環として、献血キャラバン隊を編成し、市町村へ知事メッセージの伝達を行い、県民への献血思想の普及を図る	全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がりと周知を図る
	H21.1.8	はたちの献血 街頭キャンペーン	県内	県民(若年層を中心)	新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く県民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に成分献血、400mL献血の継続的な推進を図るため	全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がりと周知を図る
	H22.2.12	血液センター1日所長	県内(献血ルーム前)	県民(若年層を中心)	二十歳の学生が1日献血所長に就任し、献血のPR活動を行う	全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がりと周知を図る
	H21.10～H22.2	献血教室	県内の高等学校	高校生	将来の献血制度を支えていく高校生の献血に対する知識を深めていくとともに、ボランティア精神を養うことを目的とする(協力校:25校)	将来の血液製剤の安定供給を確保していくため